

黒部市地域交通アンケート調査結果（概要）について

1. 市民アンケート調査

（1）調査の概要

① 調査目的

- ・ 現行計画策定後の市民の交通行動や公共交通に対する評価、公共交通のあり方に関する意向を把握すること。

② 調査対象

- ・ 黒部市に居住する 15 歳以上の市民のうち、年代別で無作為に抽出した 2,000 名

③ 調査方法

- ・ 郵送による調査票の発送・回収（留置方式）及びWeb 方式併用

④ 調査日程

- ・ 調査票の発送：2023 年 9 月 11 日（月）
- ・ 調査票の回収：2023 年 9 月 27 日（水）

⑤ 配布・回収状況

- ・ 本調査では、2,000 通の配布に対し 751 通の回答があり、回収率は、37.6%

配布数	2,000 通
回収数	751 通
回収率	37.6%

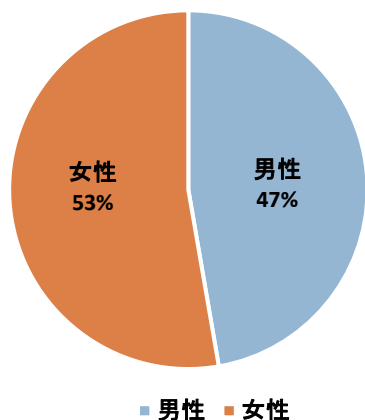
※ 以下では、有効回答数を基に集計

(2) 調査結果(概要)

①属性

○性別【単数回答】

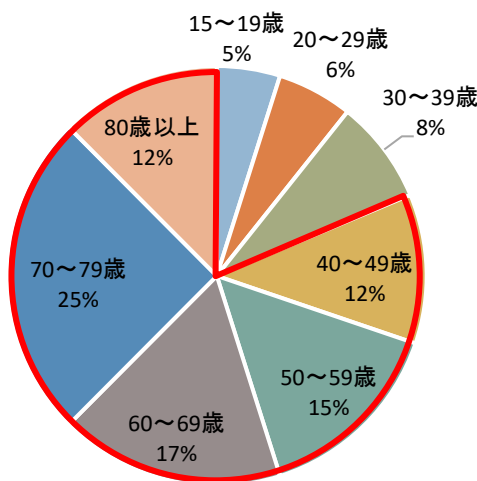
回答者の 47%が「男性」、53%が「女性」となっている。



	回答数	比率
男性	347	47%
女性	387	53%
合計	734	100%

○年齢【単数回答】

「70 歳代」が 25%と最も割合が高く、次いで「60 歳代」「50 歳代」等と続く。40 歳代から 80 歳代で全体の 81%を占める。

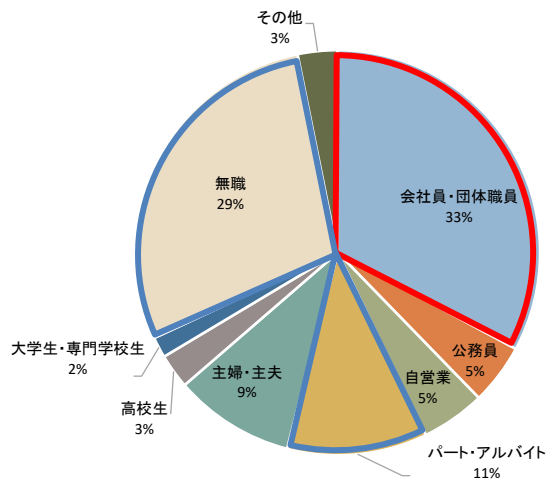


	回答数	比率
15～19歳	36	5%
20～29歳	43	6%
30～39歳	59	8%
40～49歳	85	12%
50～59歳	110	15%
60～69歳	128	17%
70～79歳	185	25%
80歳以上	92	12%
合計	738	100%

40 歳代から 80 歳以上 81%

○職業【単数回答】

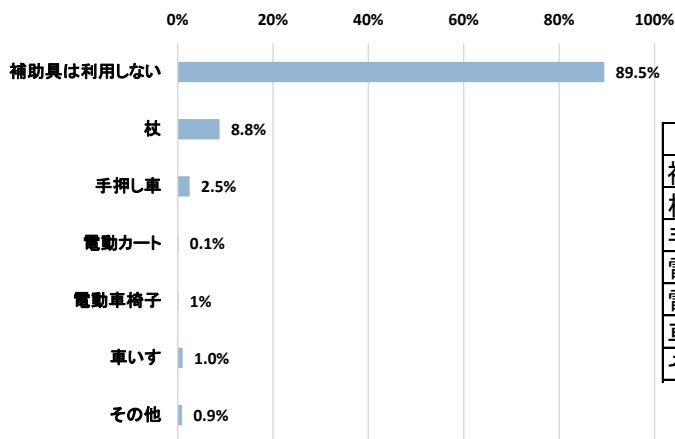
「会社員・団体職員」が33%と最も割合が高く、「無職」「パート・アルバイト」等と続く。



	回答数	比率
会社員・団体職員	238	33%
公務員	35	5%
自営業	37	5%
パート・アルバイト	81	11%
主婦・主夫	77	10%
高校生	20	3%
大学生・専門学校生	12	2%
無職	208	28%
その他	23	3%
合計	731	100%

○外出時の補助具利用状況【複数回答】

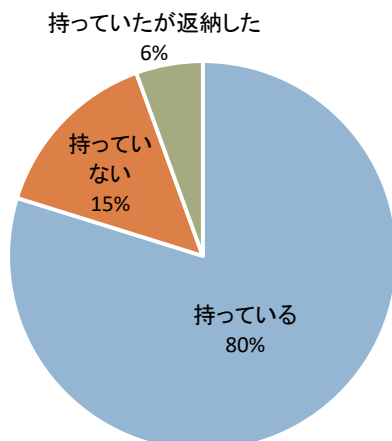
補助器具を利用しない回答者が大多数を占める。



	回答数	比率
補助具は利用しない	602	89.5%
杖	59	8.8%
手押し車	17	2.5%
電動カート	1	0.1%
電動車椅子	1	0.1%
車いす	7	1.0%
その他	6	0.9%

○運転免許の所有状況【単数回答】

運転免許所有者が大多数を占める。なお、免許返納者は6%となっている。

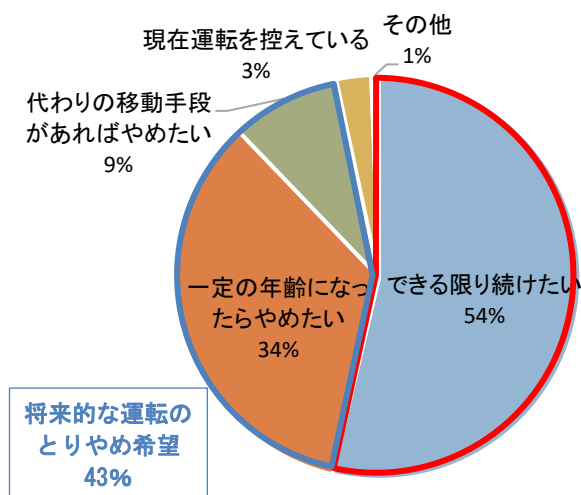


	回答数	比率
持っている	589	80%
持っていない	108	15%
持っていたが返納した	41	6%
合計	738	100%

○運転継続意向【単数回答】

「できる限り続けたい」の回答者が54%と高い割合を占めている。

4割超の回答者が、将来的な運転の取りやめを志向している（「一定の年齢になったらやめたい」「代わりの移動手段があればやめたい」の合計）。

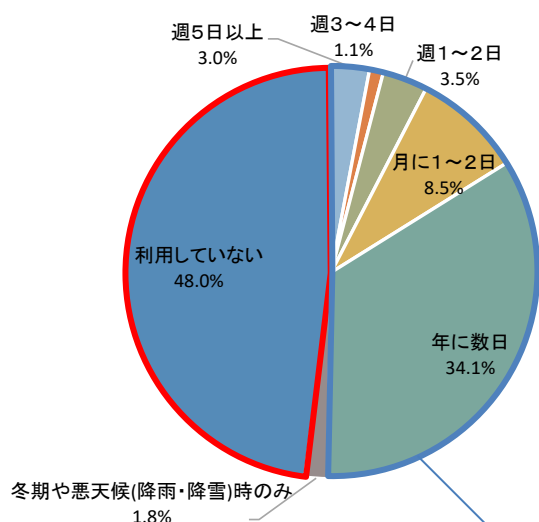


	回答数	R5比率
できる限り続けたい	348	54%
一定の年齢になったらやめたい	221	34%
代わりの移動手段があればやめたい	57	9%
現在運転を控えている	18	3%
その他	4	1%
合計	648	100%

○公共交通の利用頻度【単数回答】

公共交通を「利用していない」回答者が48%と最も割合が高い。週に1回以上公共交通を利用する回答者は、全体の1割未満に留まる。

特に、第2次計画の目標指標4に位置づけられている「1年に1回以上公共交通を利用する市民の割合」は、目標値である80.0%を下回る50.3%（令和元年度58.1%）となった。

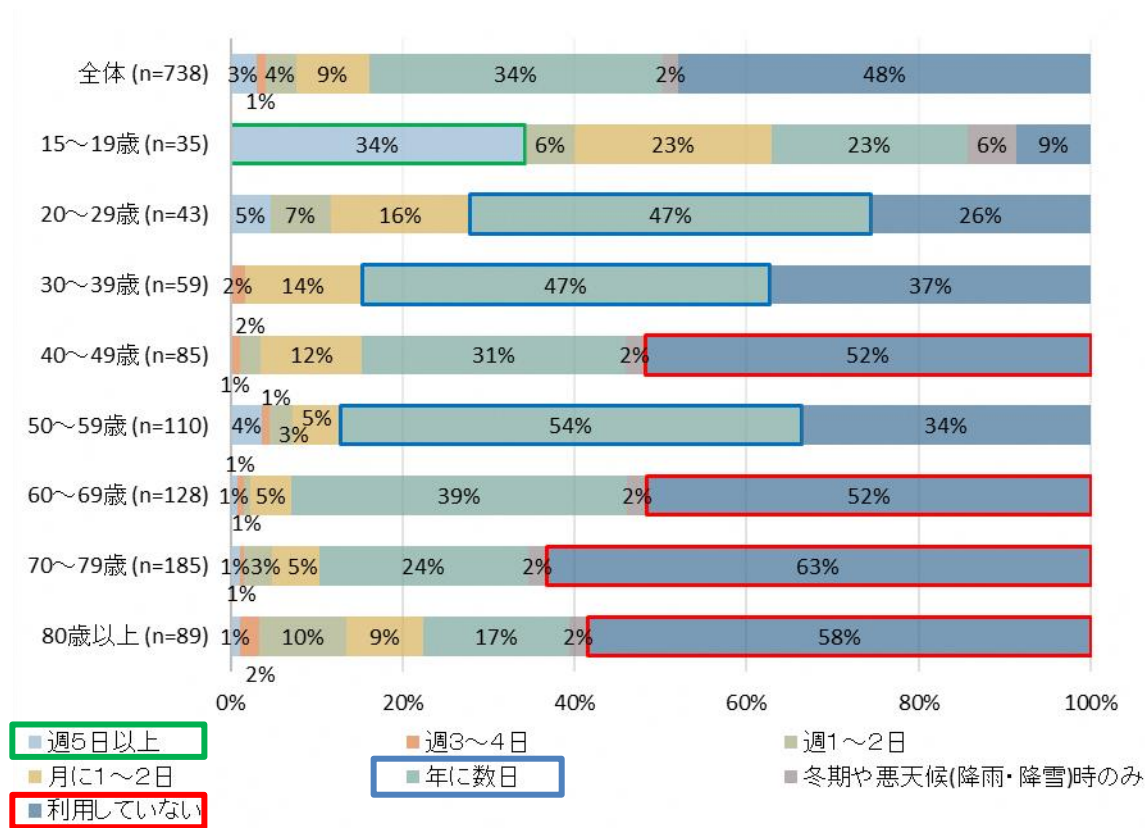


	回答数	比率
週5日以上	22	3.0%
週3～4日	8	1.1%
週1～2日	26	3.5%
月に1～2日	63	8.5%
年に数日	252	34.1%
冬期や悪天候(降雨・降雪)時のみ	13	1.8%
利用していない	354	48.0%
合計	738	100.0%

○年齢別公共交通の利用頻度【単数回答】

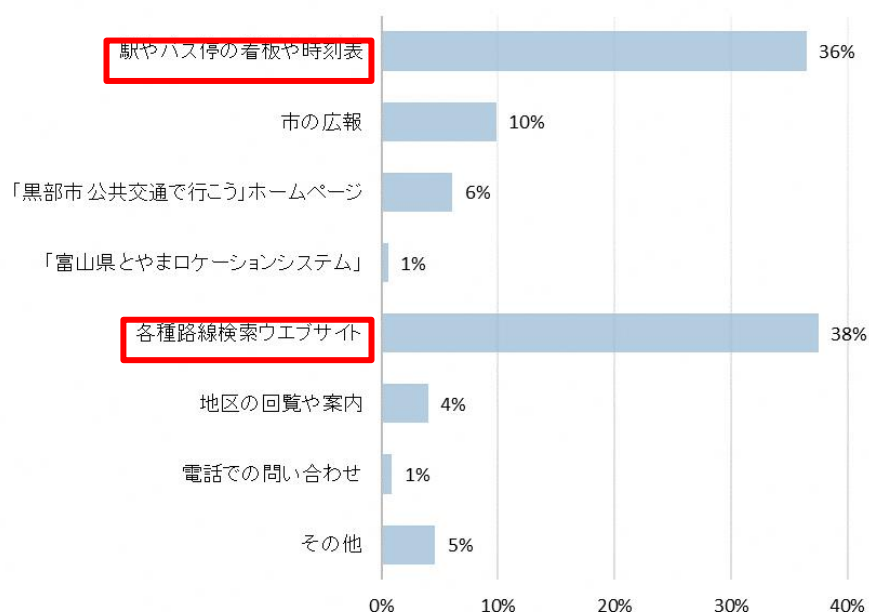
年齢別にみると「10 歳代」では週 5 日以上の割合が最も高い。

20 歳代以降では公共交通の利用頻度が低く、「20 歳代」「30 歳代」「50 歳代」では年に数回、「40 歳代」「60 歳代以上」では「利用していない」の割合が最も高い。



○公共交通に関する情報の取得方法【複数回答】

「各種路線検索ウェブサイト」の割合が最も高く、「駅やバス停の看板や時刻表」が続く。



②外出行動の状況

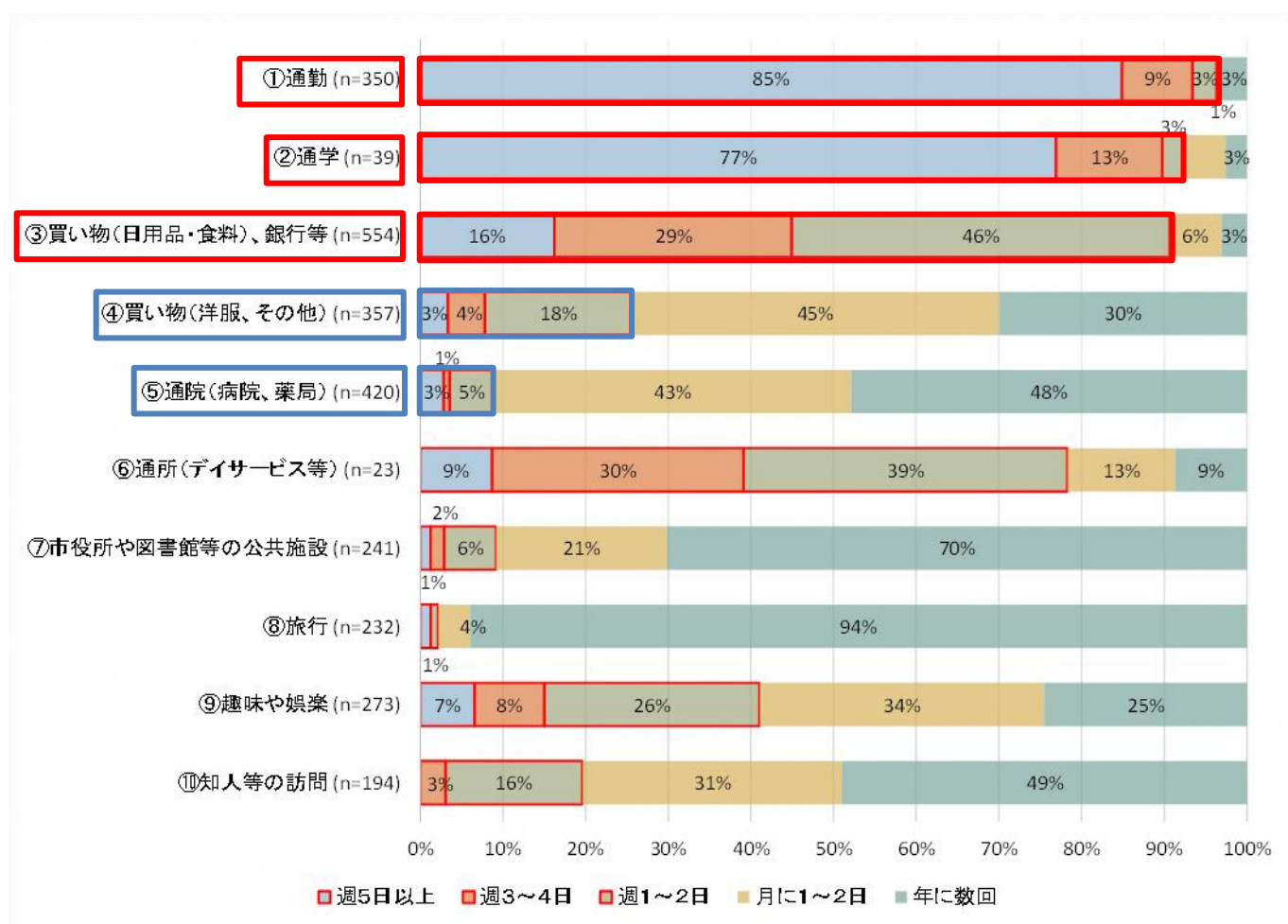
②-1 外出目的ごとの外出状況

○外出目的ごとの外出頻度【複数×単数回答】

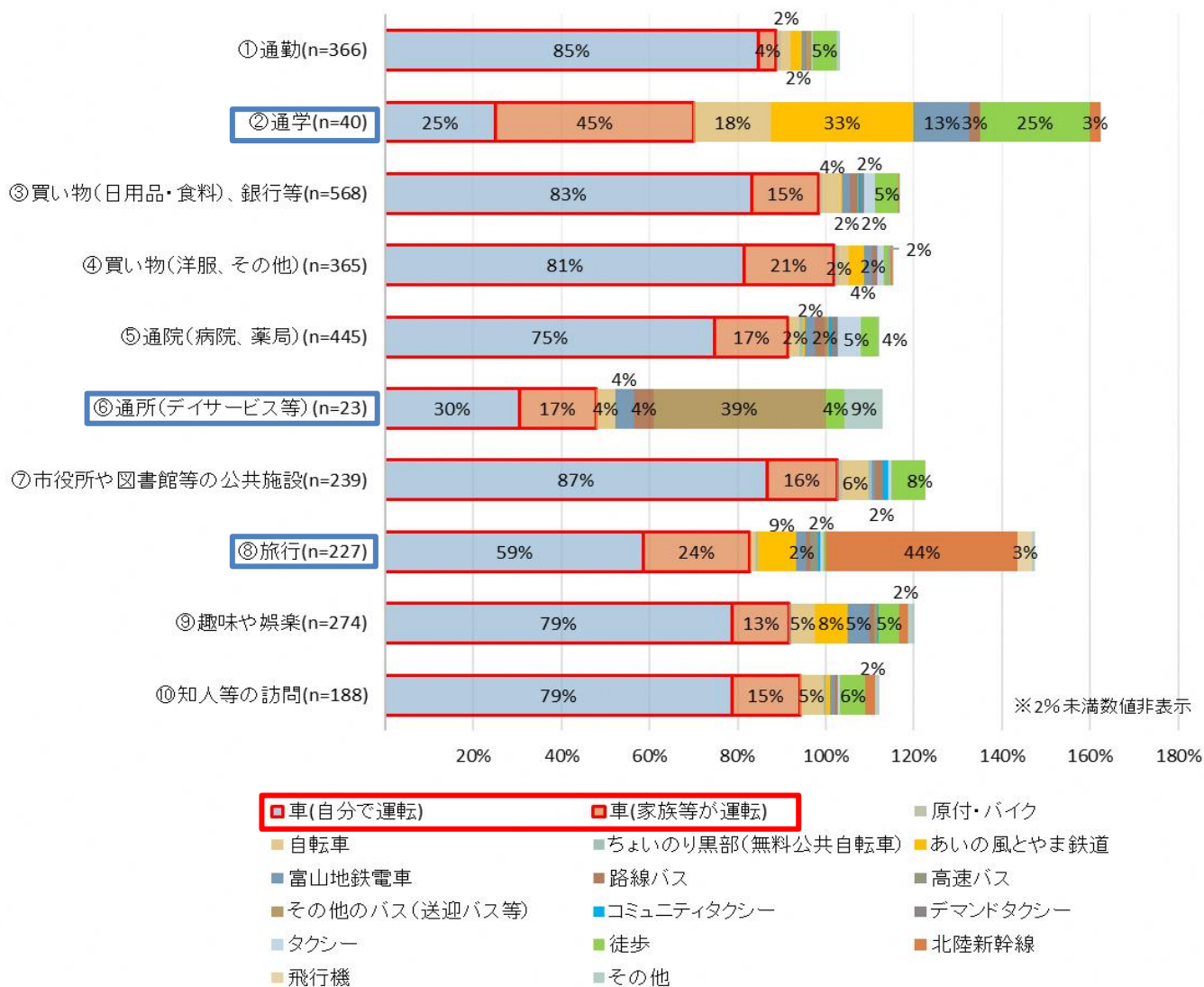
外出目的の回答数が最も多いのは「買い物（日用品・食料）、銀行等」で、「通院（病院、薬局）」
「買い物（洋服、その他）」等と続く。

外出目的ごとの外出頻度を整理すると、他の外出目的に比べ「通勤」や「通学」は週1回以上の割合が高い。

回答数が最も多い「買い物（日用品・食料）、銀行等」では、週に1回以上でほとんどを占める。
一方、回答数が比較的多かった「通院（病院、薬局）」や「買い物（洋服、その他）」では、週に1回以上の外出頻度は、概ね3割以下に留まる。



ほとんどの外出目的で「車（自分の運転）」「車（家族等が運転）」が高い割合を占める中で、「②通学」「⑥通所（デイサービス等）」「⑧旅行」では公共交通等を利用する割合が高い。

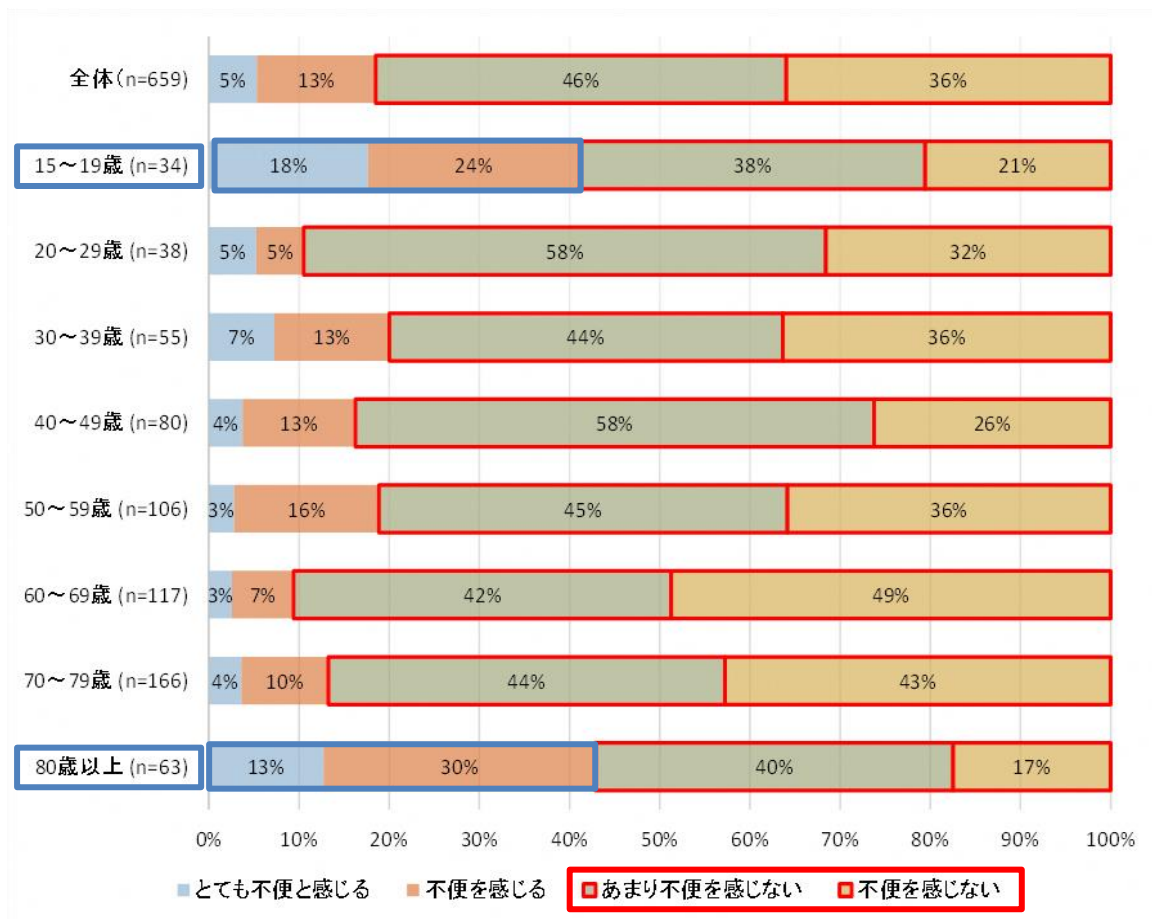


②-2 日常のおでかけの不便さに関する意識

○年齢とのクロス集計【単数×単数回答】

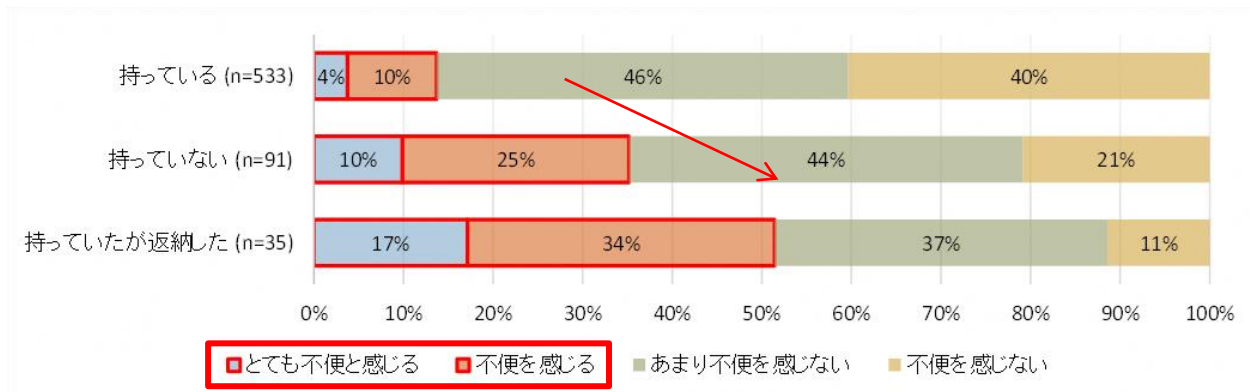
「あまり不便を感じない」「不便を感じない」の合計をみると、全体ではほとんどを占めており、各年代においても過半数を占める。

「15～19歳」の若年層や「80歳以上」の高齢層で、「とても不便と感じる」「不便を感じる」の合計の割合が高い傾向がある。



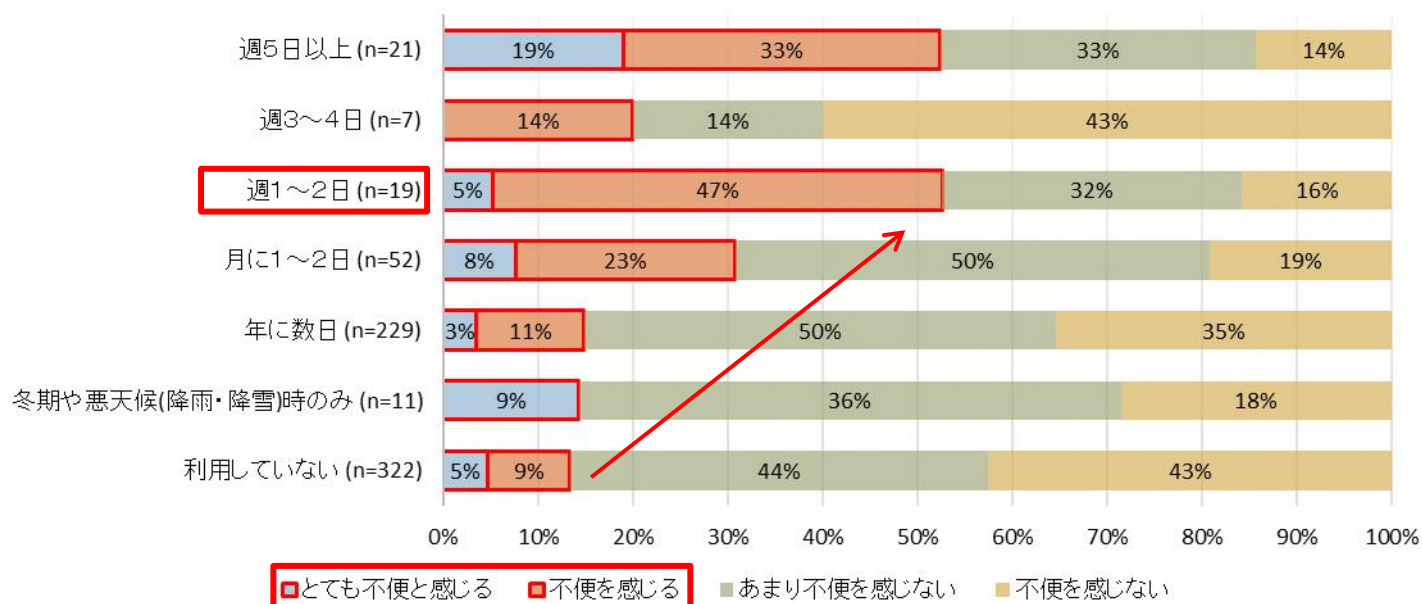
○免許所有状況とのクロス集計【単数×単数回答】

運転免許所有者に比べ、運転免許返納者を含む運転免許非所有者で「とても不便と感じる」「不便を感じる」の割合が高い傾向がある。



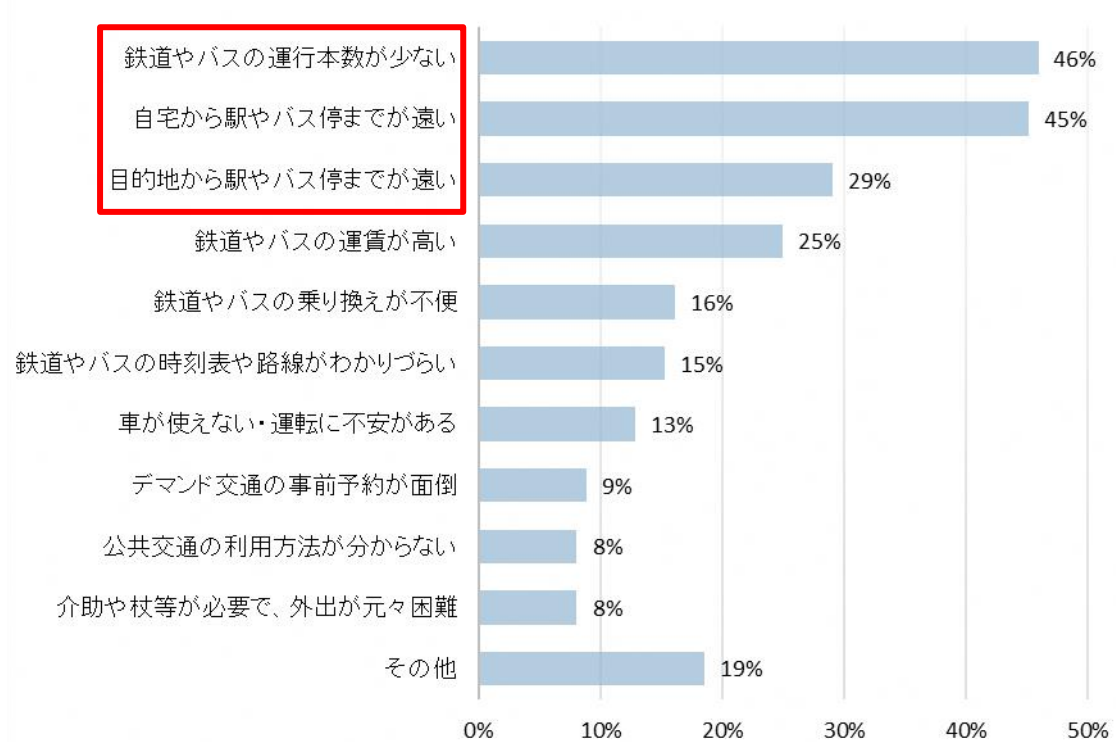
○公共交通の利用頻度とのクロス集計【単数×単数回答】

「とても不便を感じる」「不便を感じる」の合計の割合が最も高いのは「週1～2日」であり、外出頻度が週1日以下では、公共交通を利用する頻度が高い人ほど普段の外出に不便を感じる傾向がある。



②-3 外出に不便を感じる理由【複数回答】

外出に不便を感じる理由は、「鉄道やバスの運行本数が少ない」が最も割合が高く、「自宅から駅やバス停までが遠い」「目的地から駅やバス停までが遠い」等が続く。

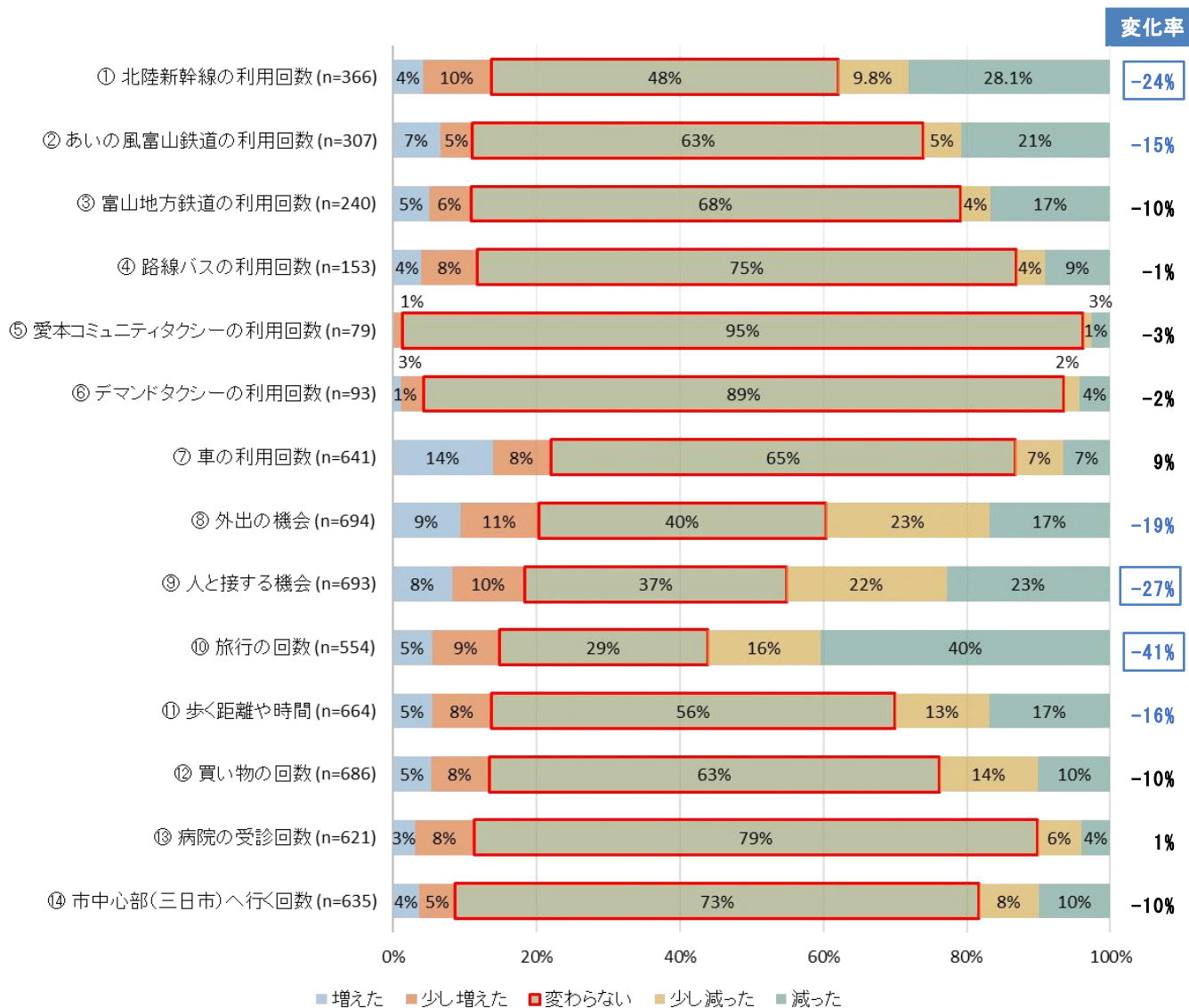


②-4 新型コロナウイルス感染症の拡大前からの行動の変化【単数回答】

「変わらない」との回答が半数以上の項目は、14項目中10項目である。

コロナ禍前からの変化率※をみると、「⑩旅行の回数」が最も低く、「⑨人と接する機会」「⑧外出の機会」「①北陸新幹線の利用回数」等が続く。

※変化率は、「増えた」「少し増えた」から「少し減った」「減った」を引いた割合



③黒部市内の公共交通に関する評価等

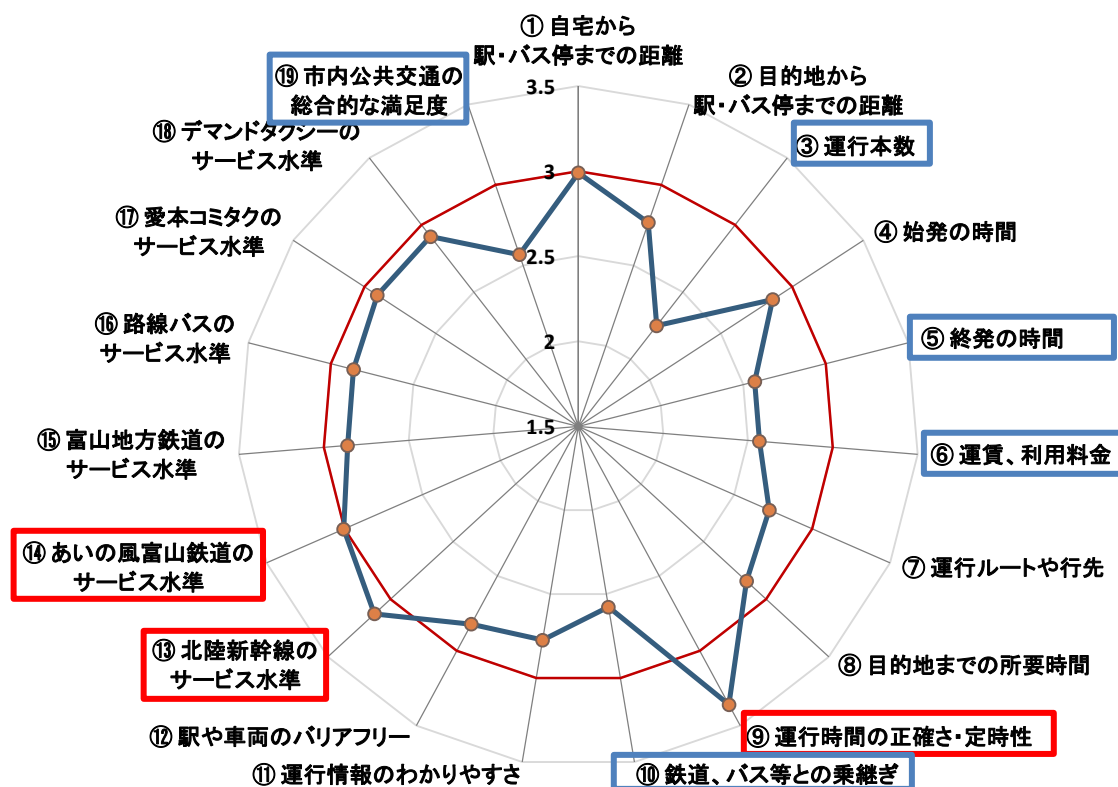
③-1 黒部市の公共交通の満足度【単数回答】

満足度が中央値を超える項目は「⑨運行時間の正確さ・定時性」を筆頭に、「⑬北陸新幹線のサービス水準」「⑭あいの風富山鉄道のサービス水準」である。

一方、「③運行本数」や「⑤終発の時刻」「⑥運賃、利用料金」「⑱市内公共交通の総合的な満足度」で、著しく評価が低い結果となった。

第2次計画の目標指標5に位置づけられている「⑱市内公共交通の総合的な満足度」は、目標値である3.50ポイントを下回る2.57（令和元年度2.59）ポイントとなった。

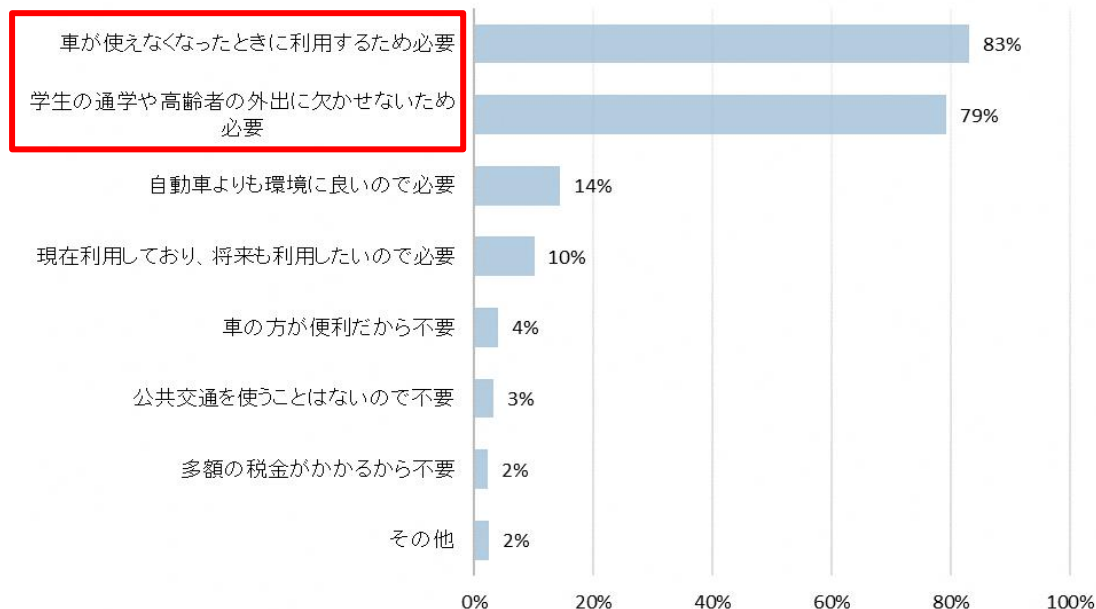
※満足度は、満足＝5、やや満足＝4、普通＝3、やや不満＝2、不満＝1とした五段階評定法による平均値



④将来の公共交通のあり方

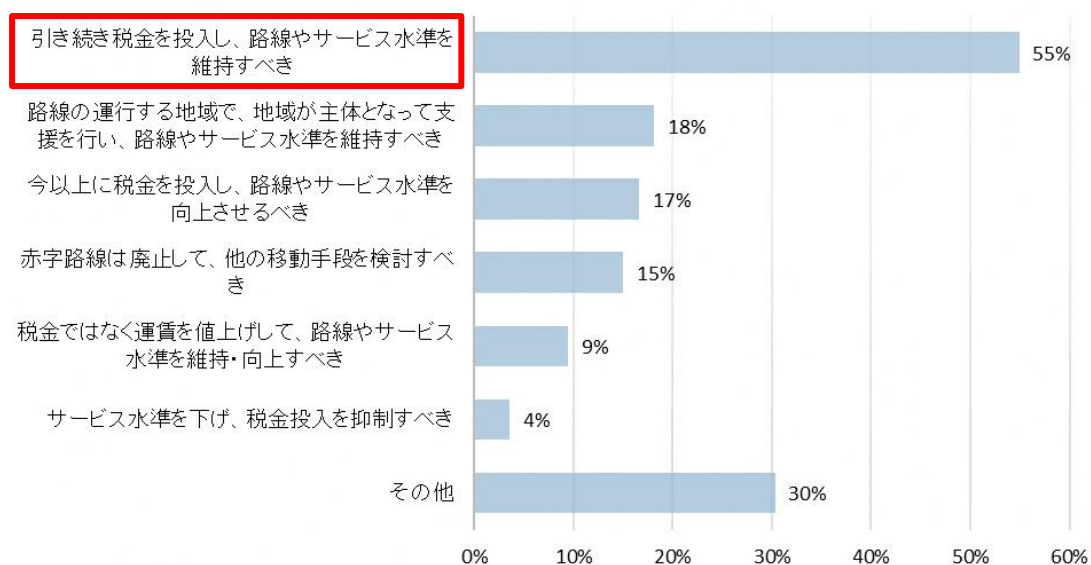
④－１ 公共交通の必要性【複数回答】

「車が使えなくなったときに利用するため必要」と「学生の通学や高齢者の外出に欠かせないため必要」が突出して割合が高い。



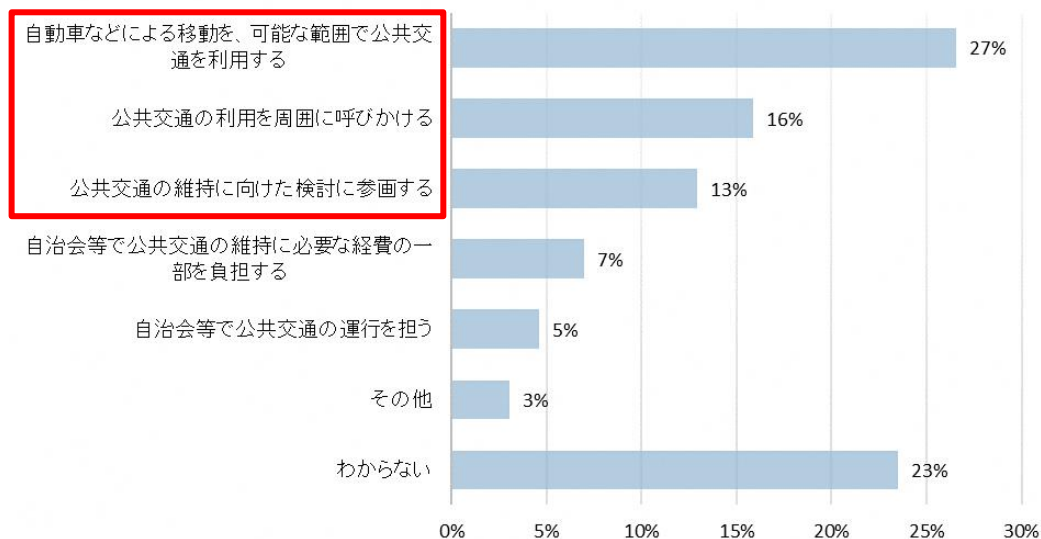
④－２ 公共交通のサービス維持のあり方【複数回答】

「引き続き税金を導入し、路線やサービス水準を維持すべき」が突出して割合が高い。



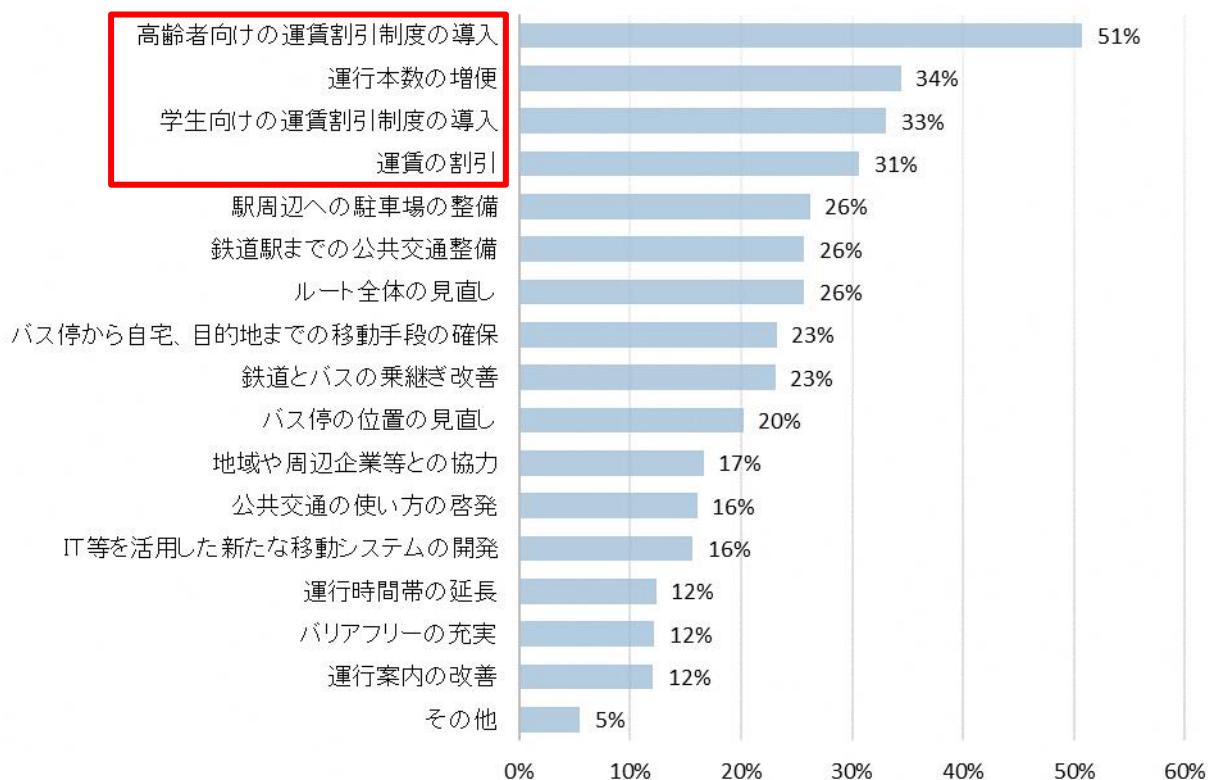
④－３ 地域や個人による公共交通のサービス維持への取り組み【複数回答】

「自動車などによる移動を、可能な範囲で公共交通を利用する」が最も割合が高く、「公共交通の利用を周囲に呼びかける」「公共交通の維持に向けた検討に参画する」が続く。



④－４ 過度に車に依存せず、公共交通を利用する生活に必要なこと【複数回答】

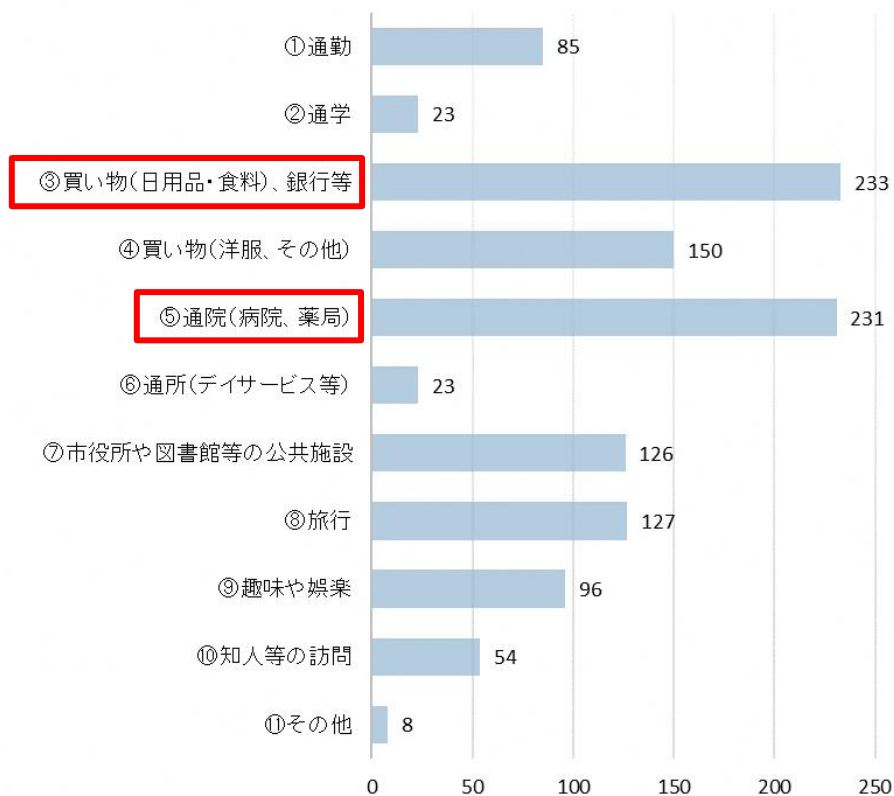
「高齢者向けの運賃割引制度の導入」が最も割合が高く、「運行本数の増便」「学生向けの運賃割引制度の導入」「運賃の割引」等と続く。



⑤公共交通の利用への転換の可能性

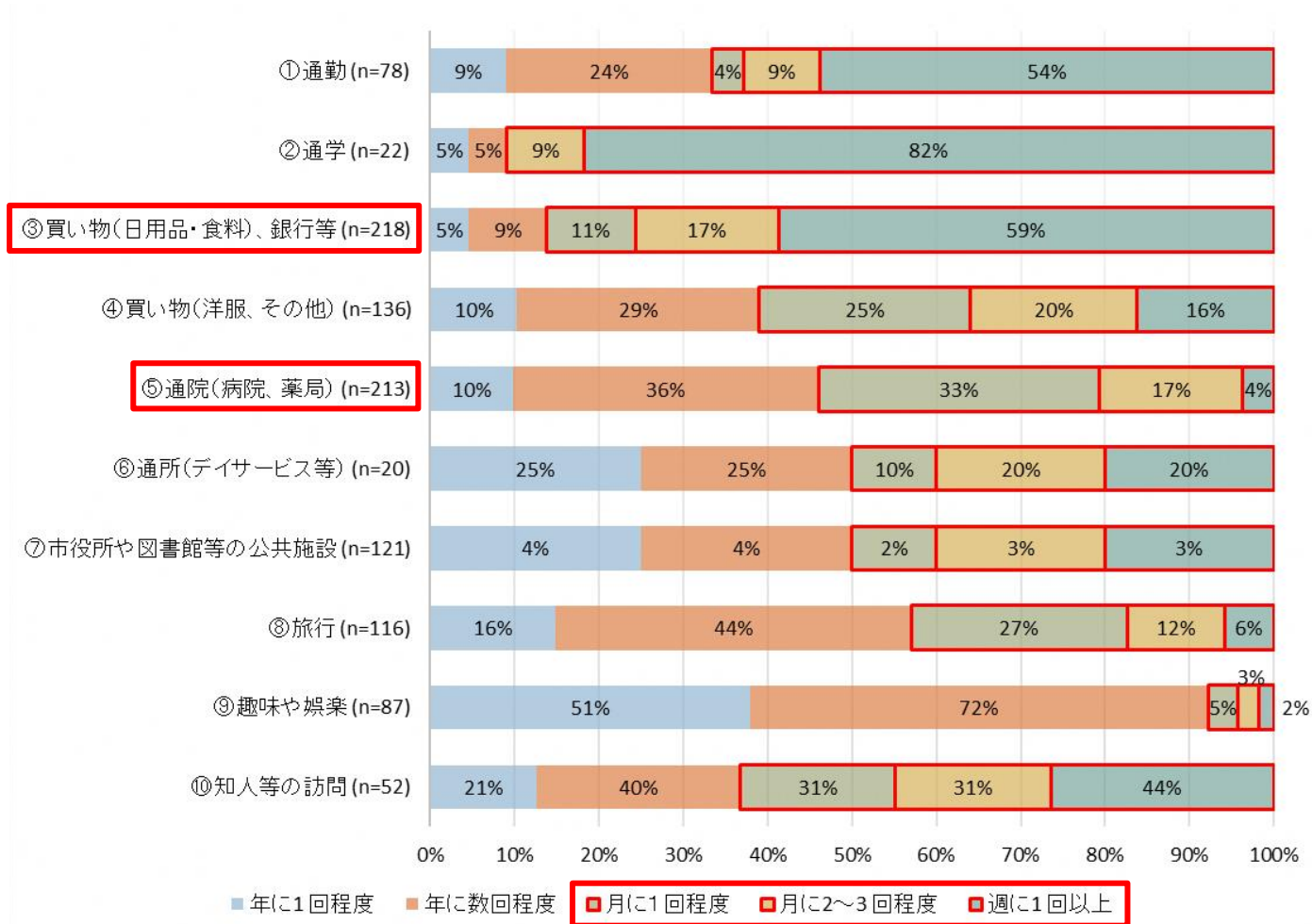
⑤－１ 公共交通を利用できる外出目的【複数回答】

可能な範囲で公共交通を利用することができる外出について、回答数が多いのは「③買い物（日用品・食料）、銀行等」「通院（病院、薬局）」である。



⑤－２ 公共交通を利用できる目的ごとの頻度【複数×単数回答】

回答数が最も多い「買い物（日用品・食料）、銀行等」では月に1回以上でほとんどを占め、「通院（病院、薬局）」では月に1回以上が半数程度である。



2. 北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の利用に関するアンケート調査

(1) 調査の概要

① 調査目的

- ・ 北陸新幹線利用者の交通行動や黒部宇奈月温泉駅の利用環境に対する評価について把握すること。

② 調査対象

- ・ 黒部宇奈月温泉駅乗降客

③ 調査方法

- ・ 黒部宇奈月温泉駅改札前での手渡しによる調査票の配布
- ・ 郵送（留置方式）及びWeb 方式併用

④ 調査日程

- ・ 調査票の配布：2019 年 9 月 19 日（木）【平日】、2019 年 9 月 22 日（日）【休日】
- ・ 調査票の回収：2019 年 10 月 5 日（木）

⑤ 配布・回収状況

- ・ 本調査では、844 通の配布に対し 329 通の回答があり、回収率は、39.0%

	9月19日(木) 【平日】	9月22日(日) 【休日】	計
配布数	342 通 (乗車 178 通) (降車 164 通)	502 通 (乗車 290 通) (降車 212 通)	844 通 (乗車 468 通) (降車 376 通)
回収数	150 通	179 通	329 通
回収率	43.9%	35.7%	39.0%

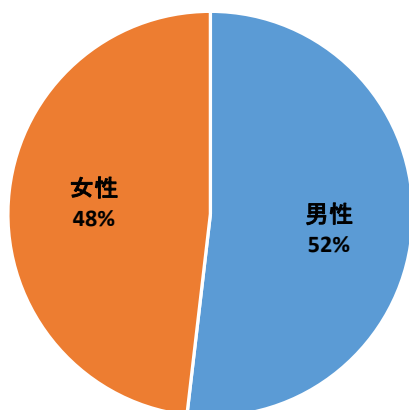
※ 以下では、有効回答数を基に集計

(2) 調査結果(概要)

① 属性

○性別【単数回答】

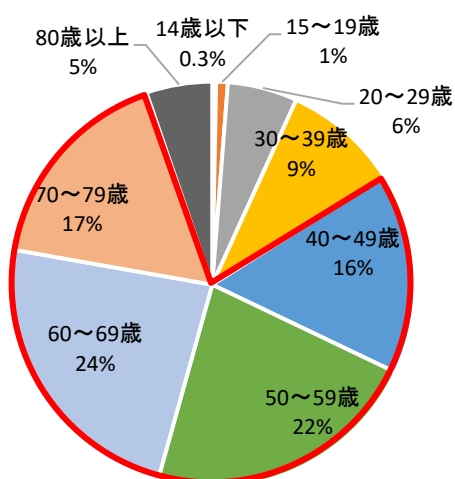
回答者の約 52%が「男性」、約 48%が「女性」となっている。



	回答数	比率
男性	168	52%
女性	156	48%
合計	324	100%

○年齢【単数回答】

「60 歳代」が約 24%と最も割合が高く、次いで「50 歳代」「40 歳代」等と続く。40 歳代から 70 歳代が全体で約 8 割を占める。

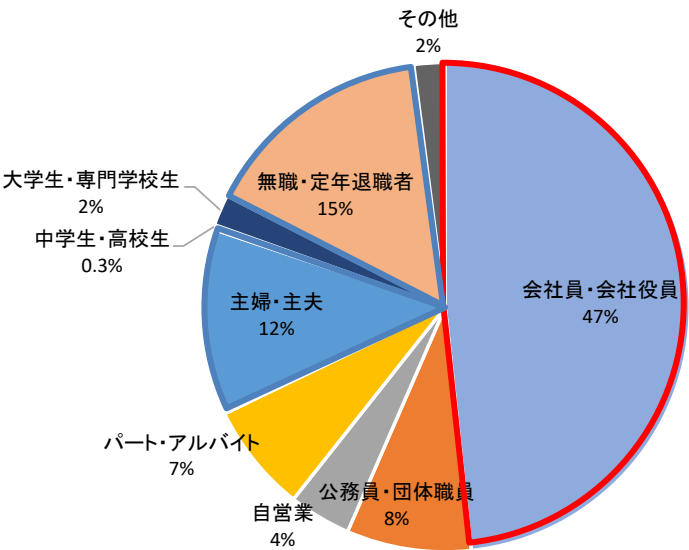


	回答数	比率
14歳以下	1	0.3%
15～19歳	3	0.9%
20～29歳	18	5.6%
30～39歳	30	9.3%
40～49歳	52	16.0%
50～59歳	72	22.2%
60～69歳	76	24.5%
70～79歳	55	17.0%
80歳以上	17	5.2%
合計	324	100.0%

40 歳代から 70 歳代 79%

○職業【単数回答】

「会社員・会社役員」が約 47%と最も割合が高く「無職・定年退職者」、「主婦・主夫」等と続く。



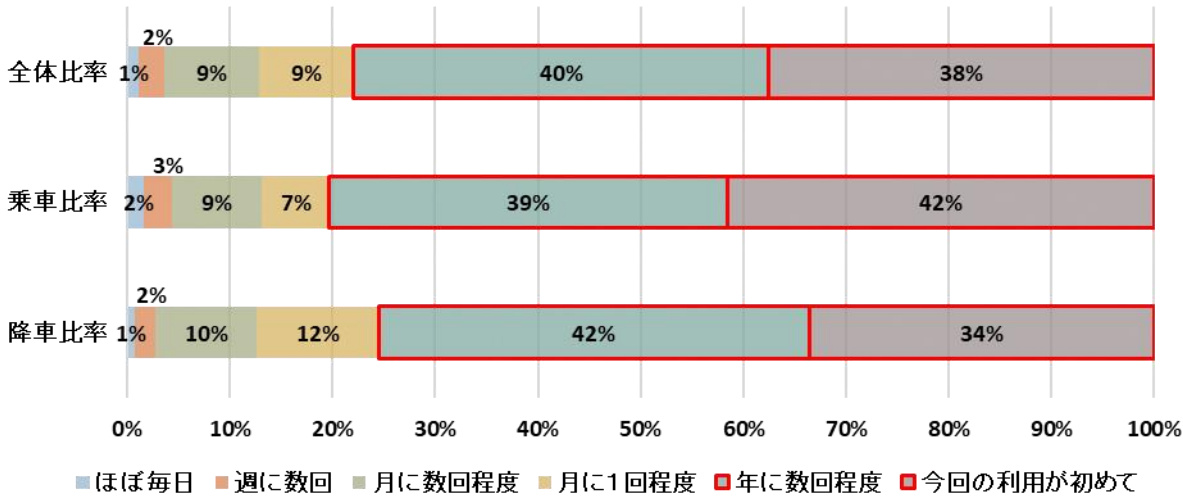
	回答者	比率
会社員・会社役員	152	47.0%
公務員・団体職員	27	8.0%
自営業	14	4.0%
パート・アルバイト	23	7.0%
主婦・主夫	40	12.0%
中学生・高校生	1	0.3%
大学生・専門学校生	8	2.0%
無職・定年退職者	50	15.0%
その他	8	2.0%
合計	323	100.0%

○北陸新幹線開業以降、「黒部宇奈月温泉駅」で乗車/降車する頻度【単数回答】

本調査では、乗車利用者には「黒部宇奈月温泉駅で乗車する頻度」、降車利用者には「黒部宇奈月温泉駅で降車する頻度」を調査した。

全体では「年に数回程度」や「今回の利用が初めて」の割合が大きい。

乗降別では、乗車で「今回の利用が初めて」、降車で「月に1回程度」の割合がやや高い。



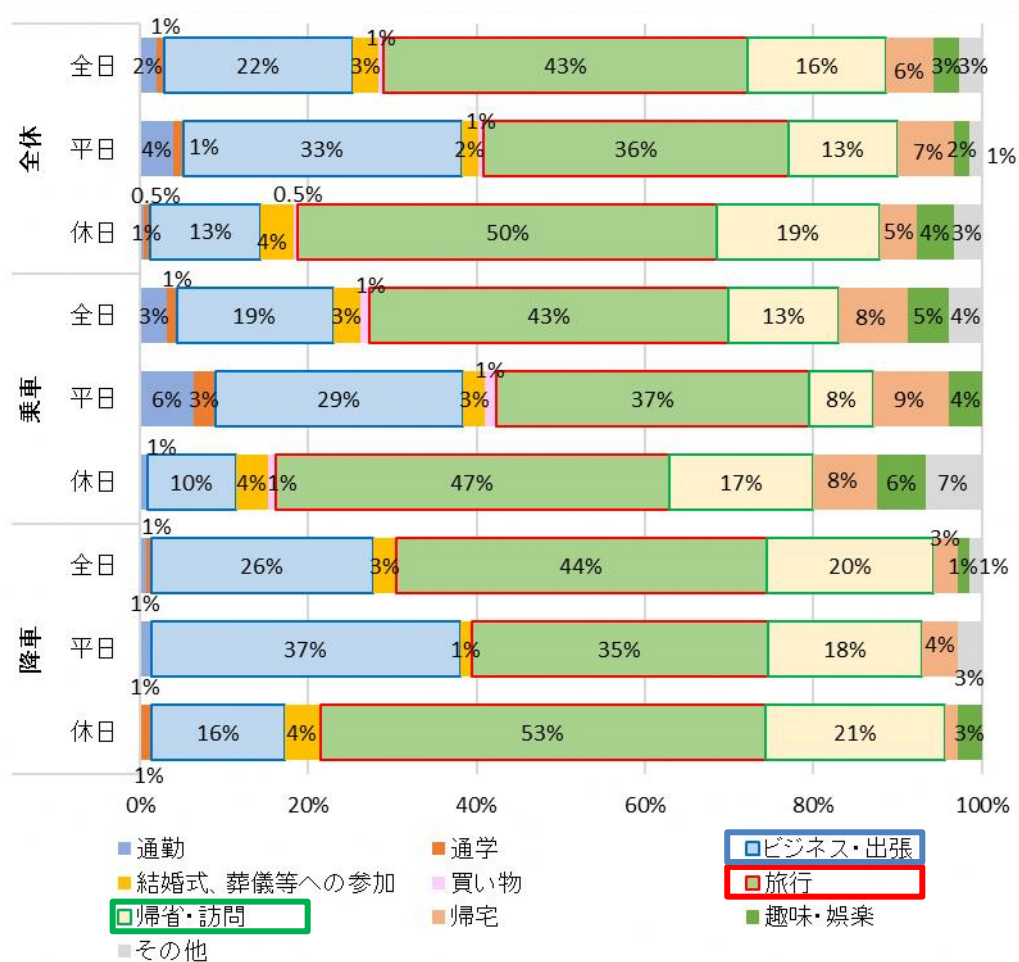
	全日人数	乗車人数	降車人数	全体比率	乗車比率	降車比率
ほぼ毎日	4	3	1	1%	2%	1%
週に数回	8	5	3	2%	3%	2%
月に数回程度	30	16	14	9%	9%	10%
月に1回程度	29	12	17	9%	7%	12%
年に数回程度	131	71	60	40%	39%	42%
今回の利用が初めて	124	76	48	38%	42%	34%
合計	326	183	143	100%	100%	100%

②本日の北陸新幹線利用を含む移動の行程

②-1 本日の北陸新幹線の利用目的【単数回答】

平日及び休日ともに、「旅行」が最も割合が高く、「ビジネス・出張」や「帰省・訪問」の割合が高い。

また、平日では、休日に比べ乗降ともに「ビジネス・出張」が「帰省・訪問」の割合を上回る。

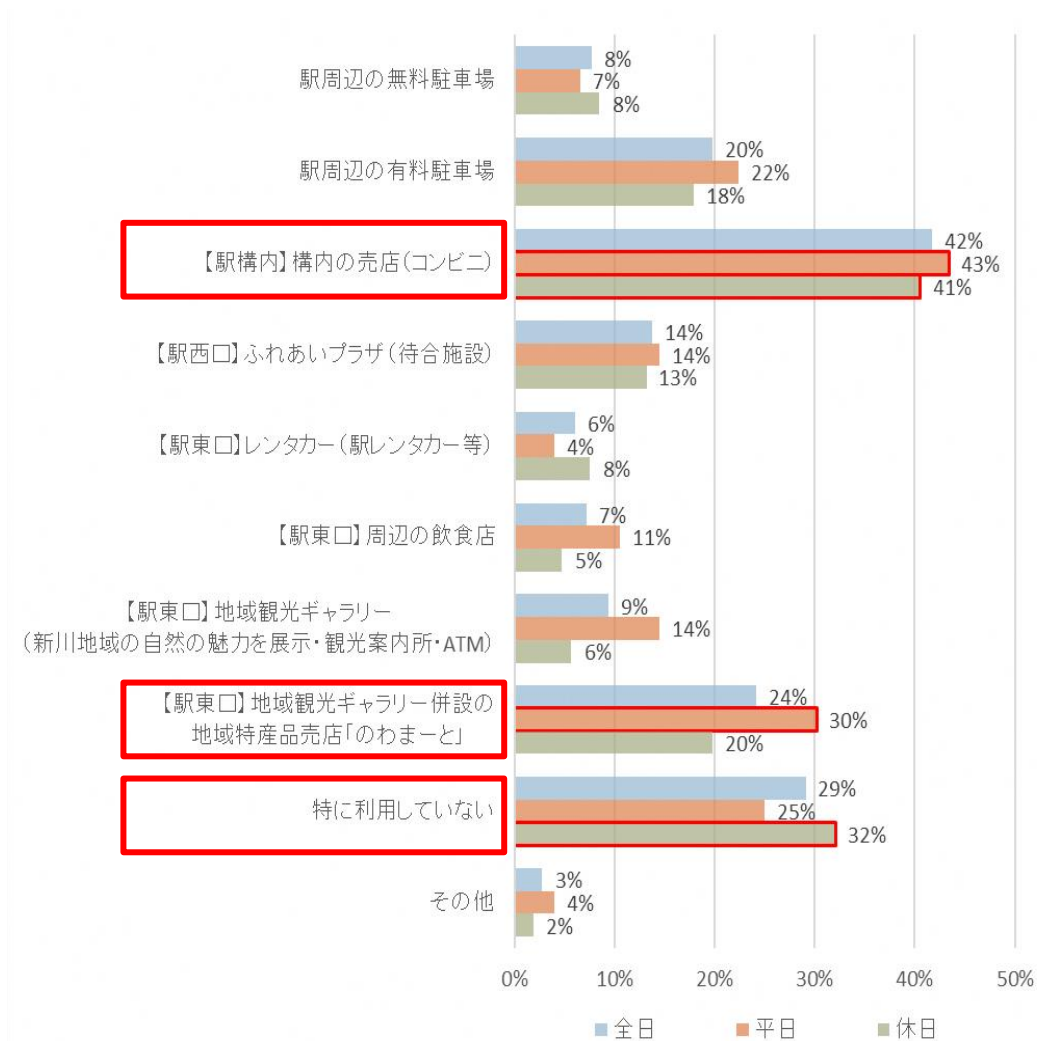


②-2 利用した駅周辺施設

○「黒部宇奈月温泉駅」で北陸新幹線に乗車する前に利用した駅周辺施設（乗車のみ）【複数回答】

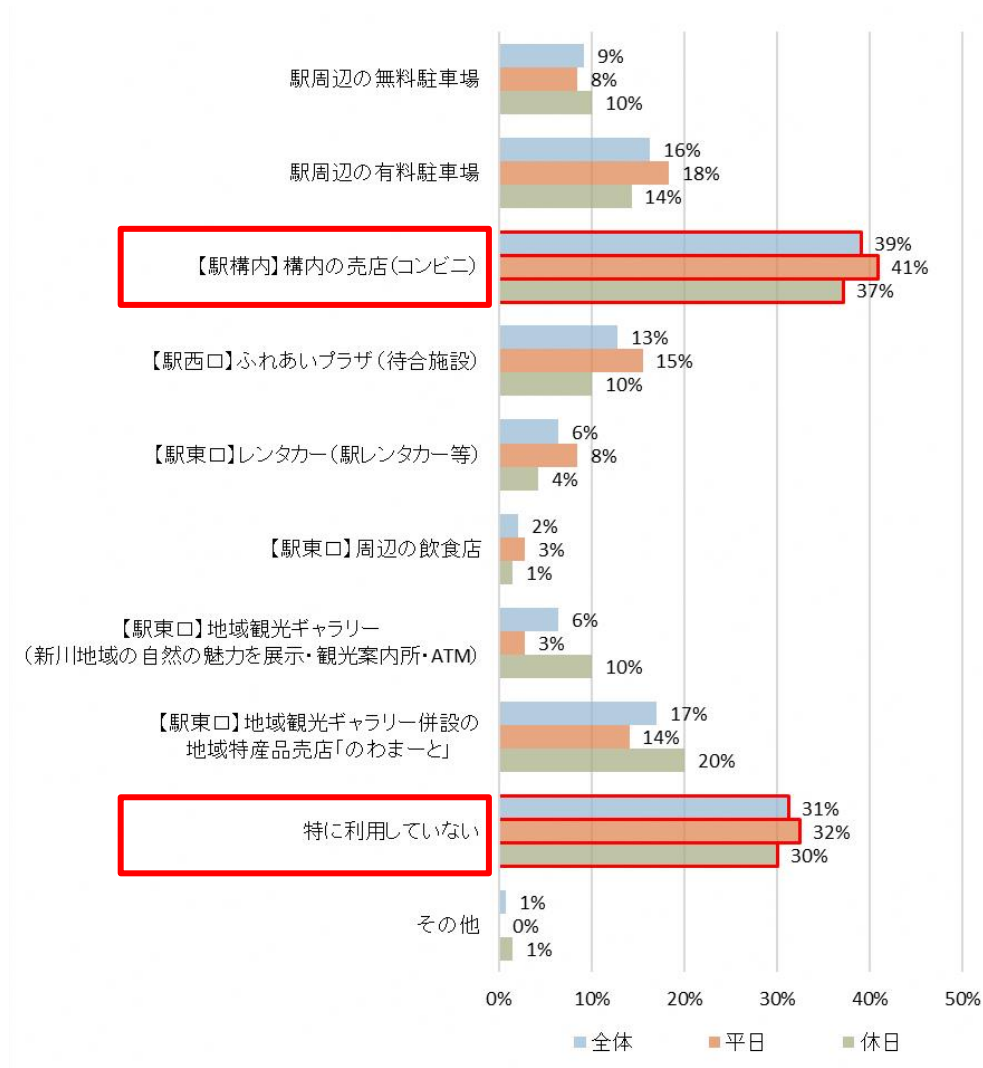
平日及び休日ともに、「【駅構内】構内の売店（コンビニ）」が最も割合が高く全体の約4割を占める。

続いて平日では、「【駅東口】地域観光ギャラリー併設の地域特産品売店「のわまーと」」の割合が高く、休日では「特に利用していない」の割合が高い。



○「黒部宇奈月温泉駅」で降車してから駅を発つまでに利用した駅周辺施設（降車のみ）【複数回答】

平日及び休日ともに「【駅構内】構内の売店（コンビニ）」が最も割合が高く全体の4割を占める。
 続いて「特に利用していない」の割合が高い。



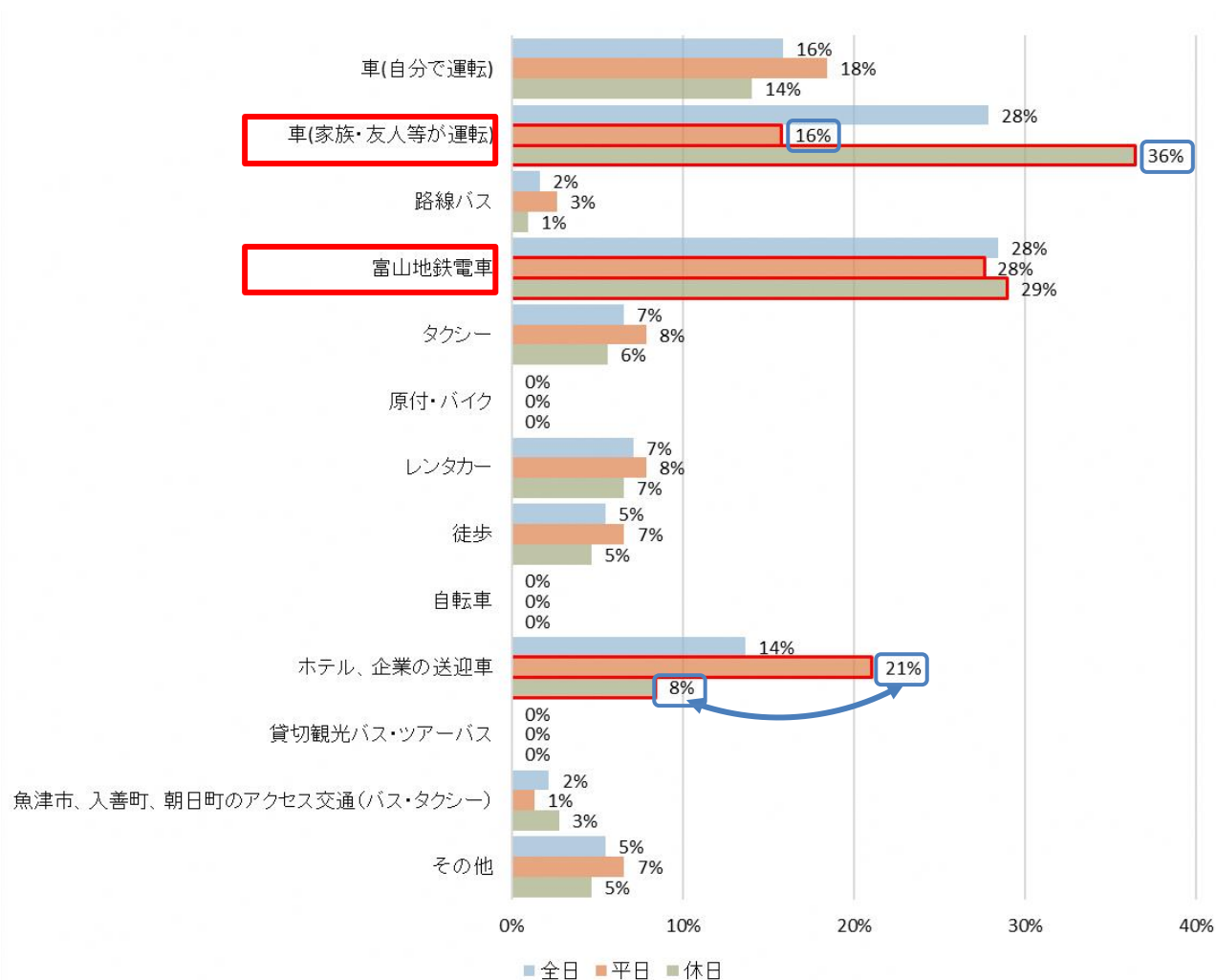
②-3 黒部宇奈月温泉を起点とする移動手段

○出発地から「黒部宇奈月温泉駅」までの主な移動手段（乗車のみ）【複数回答】

平日は、「富山地鉄電車」が最も割合が高く、次いで「ホテル、企業の送迎車」の割合が高い。

休日では、「車（家族・友人等が運転）」が最も割合が高く、次いで「富山地鉄電車」の割合が高い。

休日では平日に比べ「車（家族・友人等が運転）」の割合が高く、また平日では休日に比べ「ホテル、企業の送迎車」の割合が高い。

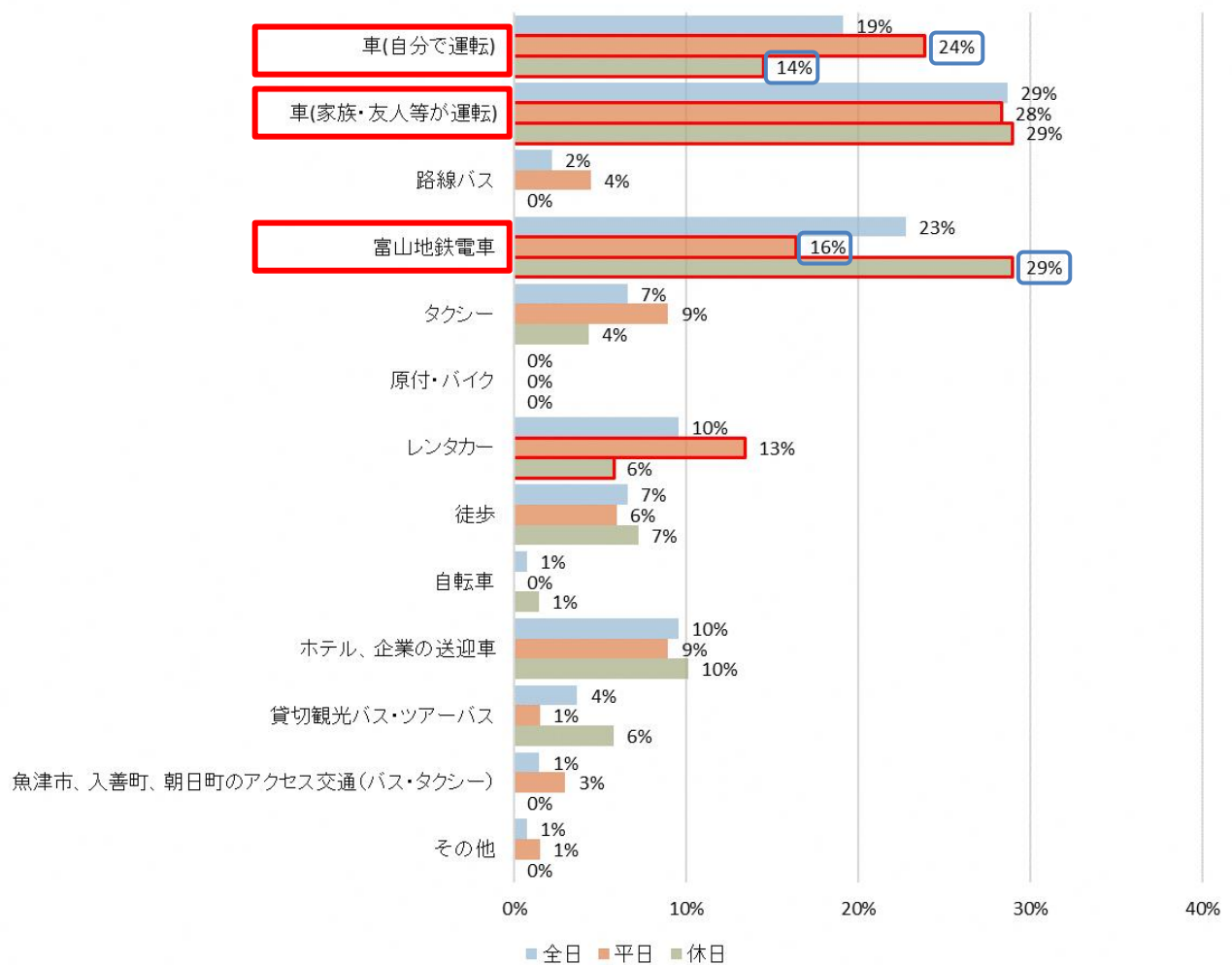


○「黒部宇奈月温泉駅」から目的地までの主な移動手段（降車のみ）【複数回答】

平日では「車（家族・友人等が運転）」「車（自分で運転）」の割合が高い。

休日では「富山地鉄電車」「車（家族・友人等が運転）」の割合が高い。

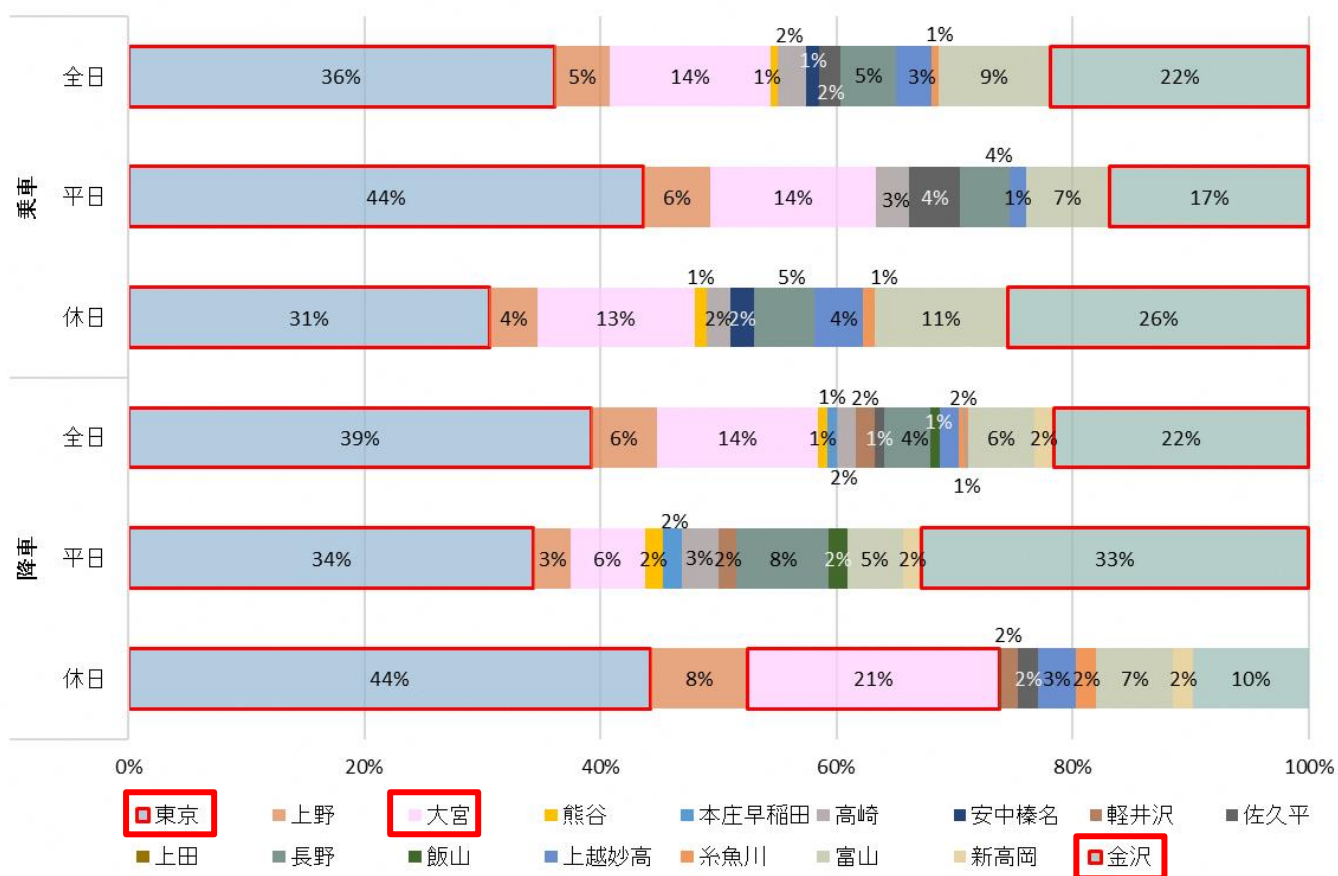
平日では休日と比べ「車（自分で運転）」の割合が高く、また休日では平日に比べ「富山地鉄電車」の割合が高い。



②-4 乗車・降車した駅【単数回答】

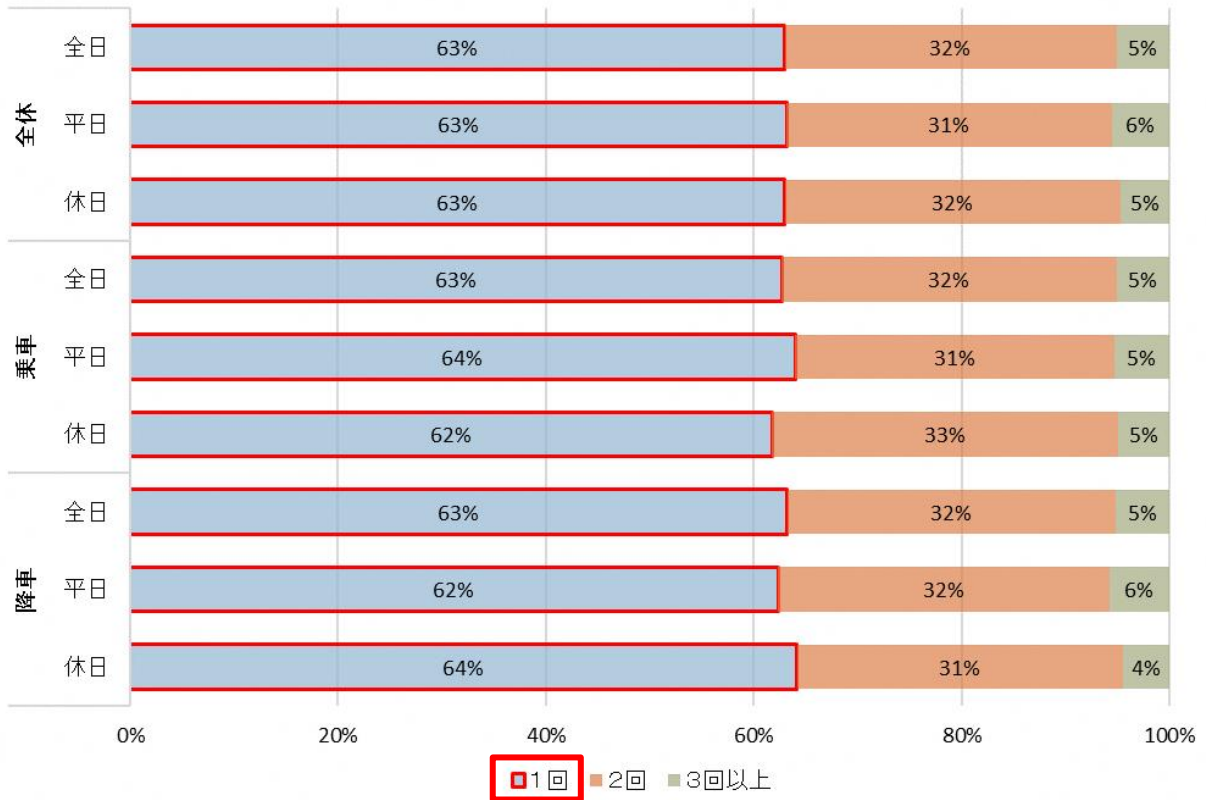
本調査では、黒部宇奈月温泉駅での乗車客には「降車する駅」、黒部宇奈月温泉駅での降車客には「乗車した駅」の設問を設けた。

黒部宇奈月温泉駅での乗車客では、平日及び休日ともに、「東京駅」や「金沢駅」の割合が高い。また、黒部宇奈月温泉駅での降車客では、平日は「金沢駅」の割合が高く、休日は「大宮」の割合が高い。



②-5 本日の北陸新幹線利用回数【単数回答】

平日及び休日とも、また乗降ともに、「1回」の回答が最も割合が高く、全体の約6割を占める。

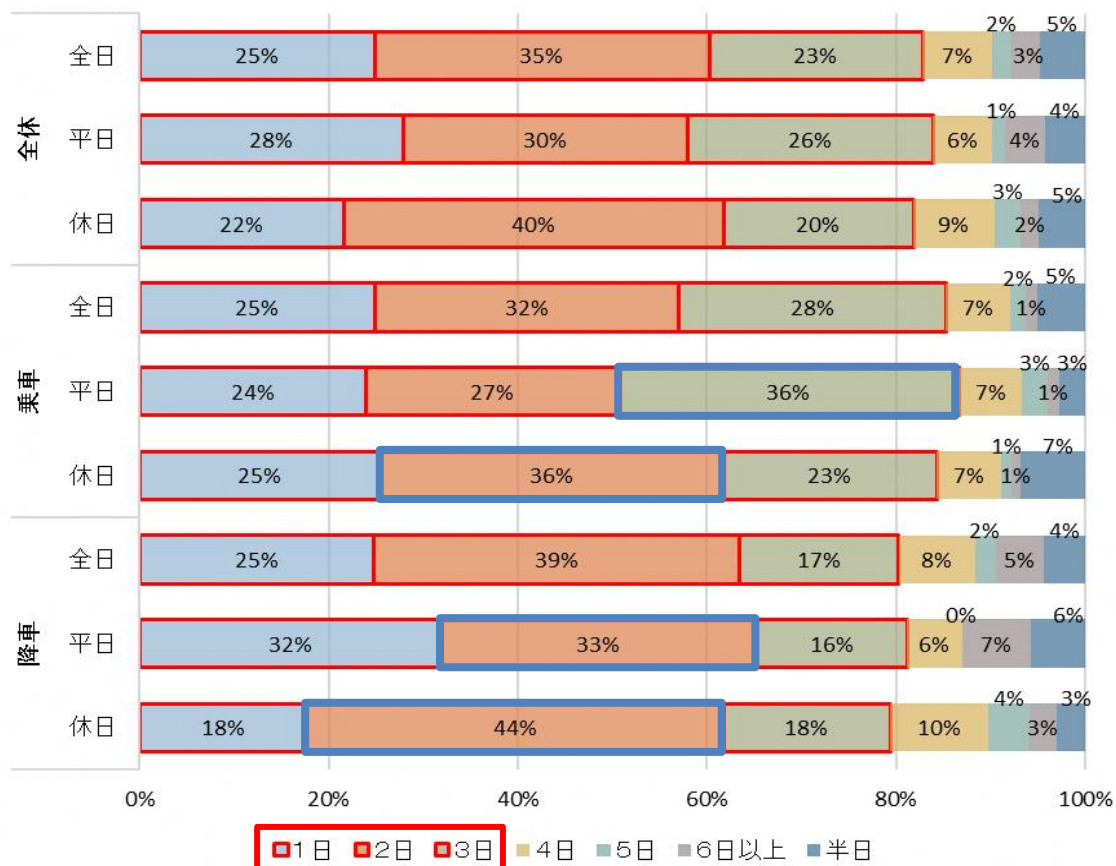


②-6 本日を含む行程にかかる日数【単数回答】

平日及び休日とも、また乗降ともに8割から9割が「3日以内」の行程であった。

乗車の平日では「3日」の割合が最も高い。

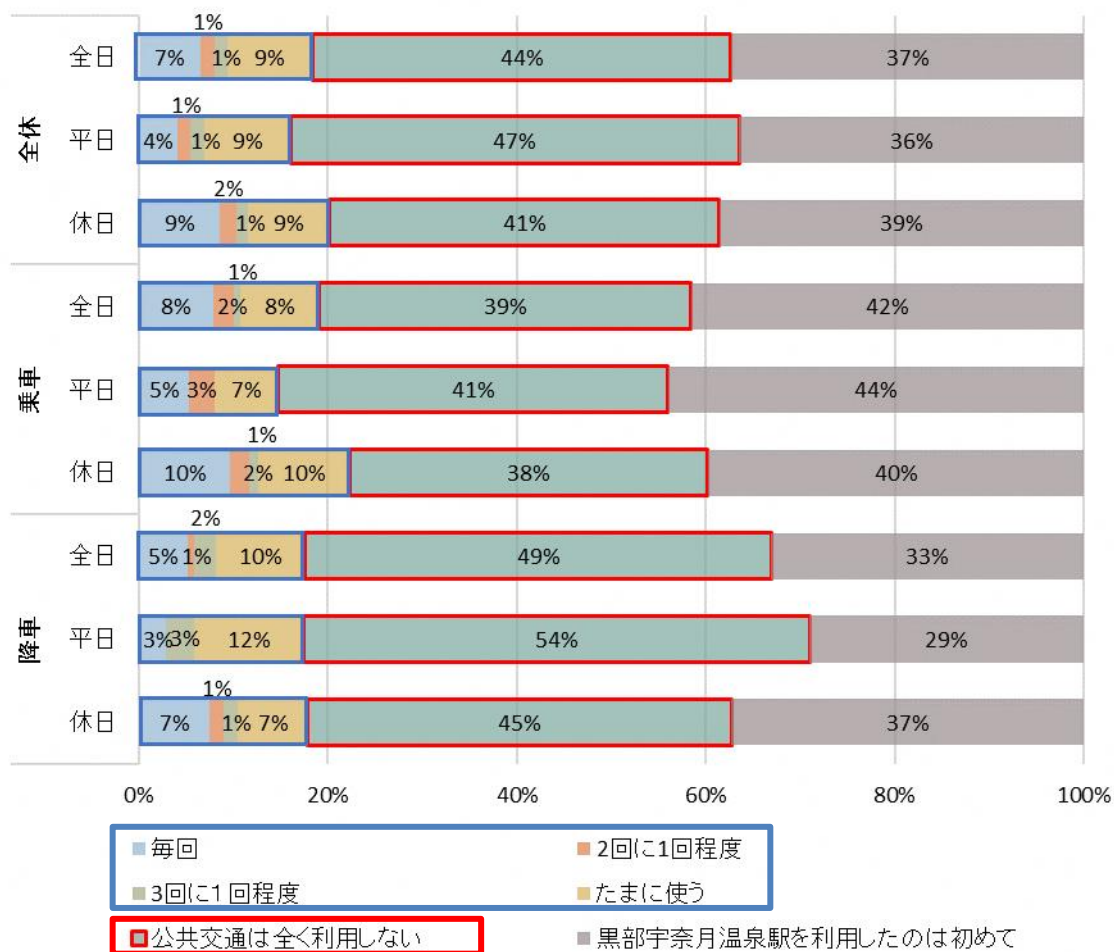
一方、乗車の休日、降車の平日及び休日では「2日」の割合が最も高い。



③普段の「黒部宇奈月温泉駅」からの移動状況

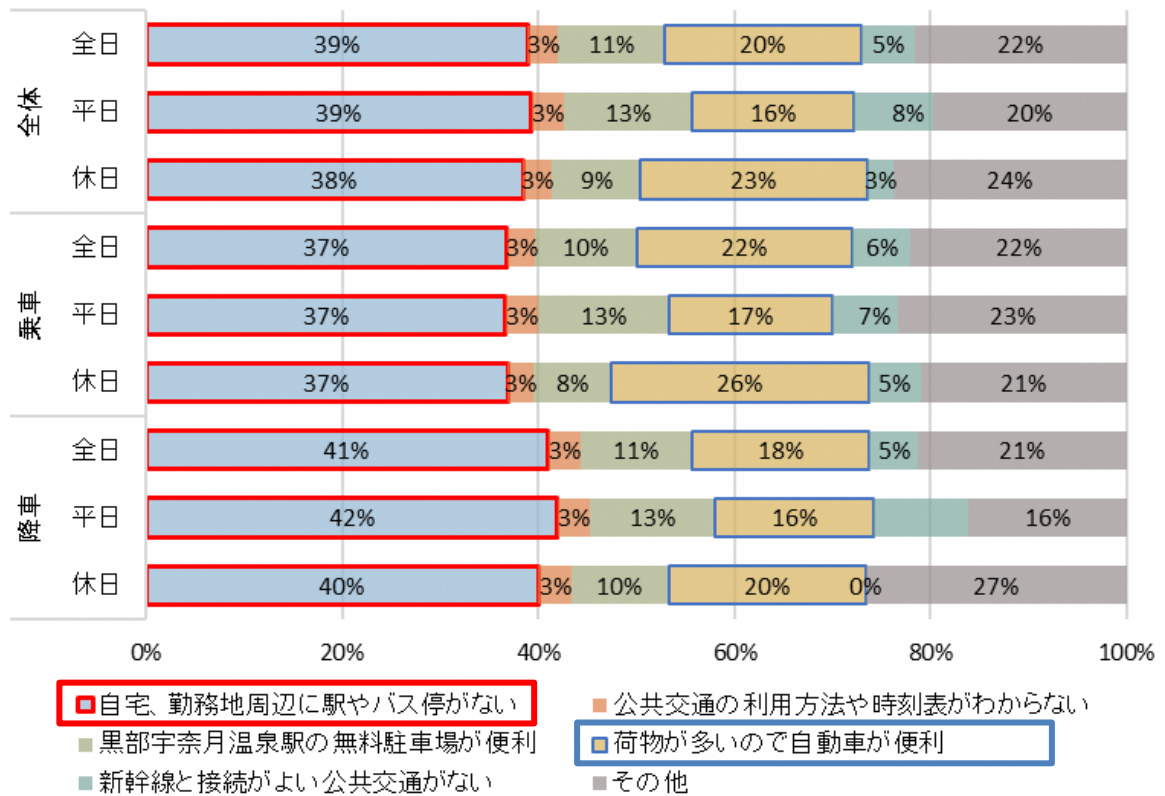
③－１「黒部宇奈月温泉駅」を起点とするアクセスの際に公共交通を利用する頻度【単数回答】

平日及び休日とも、また乗降ともに、「公共交通は全く利用しない」の割合が最も高く、それぞれ全体の４割から５割を占める。また、公共交通の利用頻度は、「毎回」から「たまに使う」を合わせ、全体の概ね２割前後であった。



③－２ 普段、「黒部宇奈月温泉駅」からの移動に公共交通を利用しない理由【単数回答】

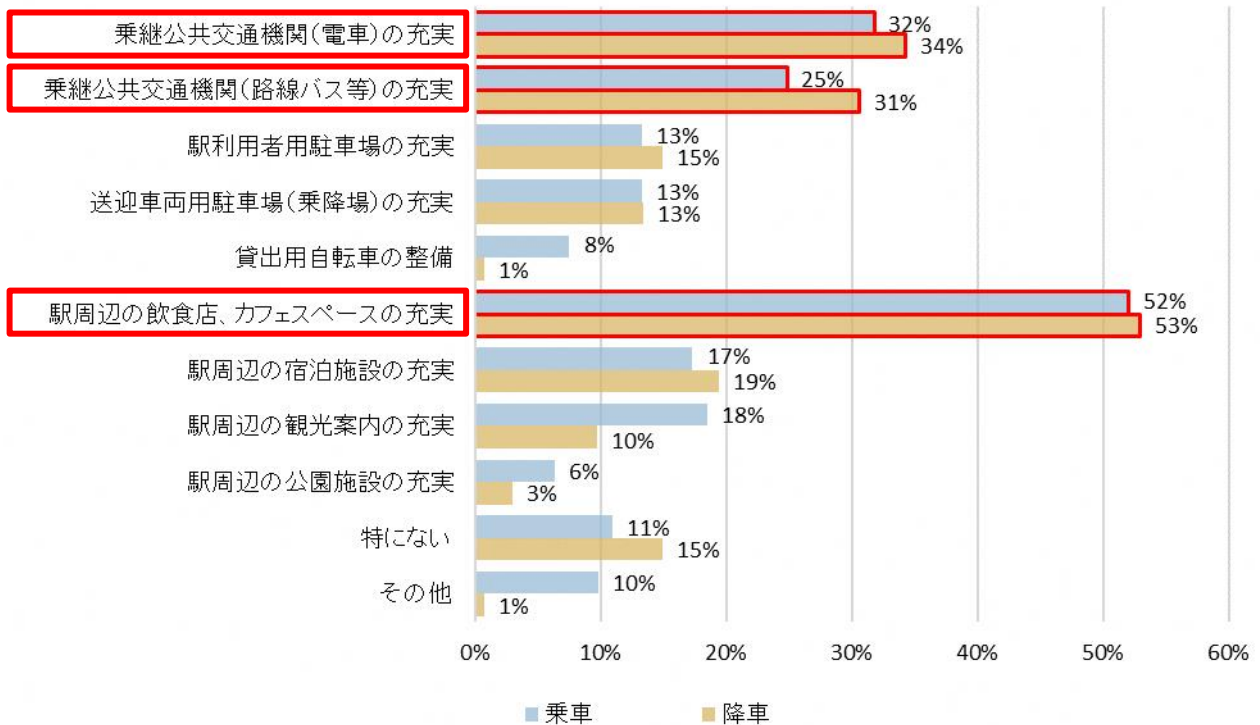
平日及び休日とも、また乗降ともに、「自宅、勤務地周辺に駅やバス停がない」の割合が最も高く、「荷物が多いので自動車が便利」等と続く。



④利用環境等に関する意見

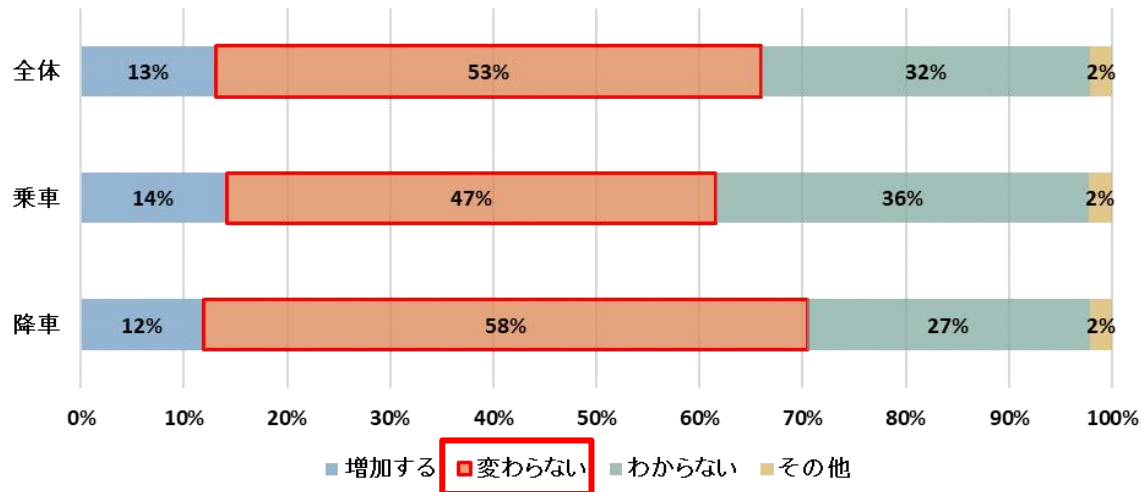
④－１「黒部宇奈月温泉駅」の利便性を向上させるために必要なこと【複数回答】

乗降ともに、「駅周辺の飲食店、カフェスペースの充実」の割合が最も高く概ね５割を占める。次いで「乗継公共交通機関（電車）の充実」や「乗継公共交通機関（路線バス）の充実」の割合も比較的割合が高い。



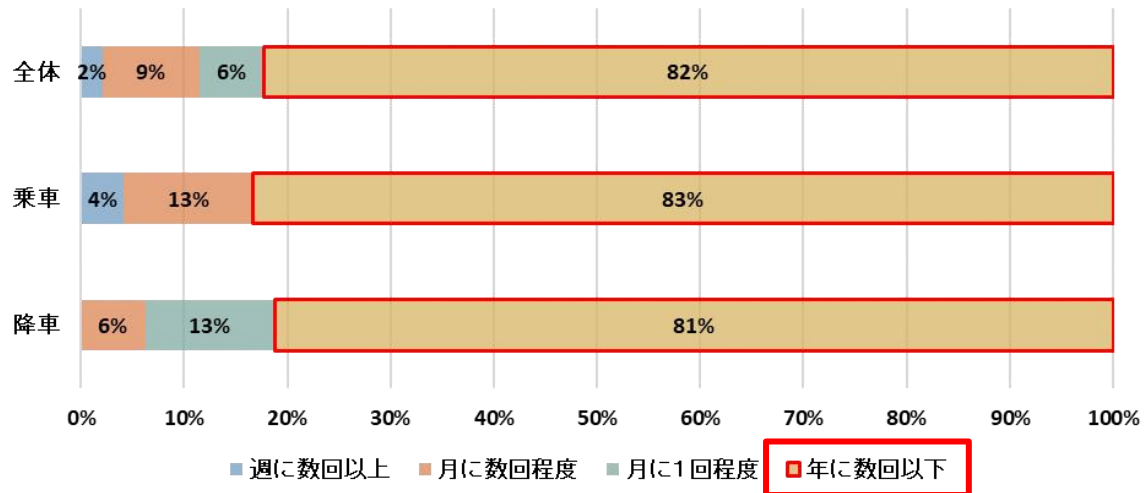
④－２ 敦賀開業後の「黒部宇奈月温泉駅」の利用の見通し【単数回答】

乗降ともに、「変わらない」が半数程度と割合が高く、次いで「わからない」の割合が高い。
降車客は、乗車客に比べ「変わらない」との割合が高い。



④－3 敦賀開業後の「黒部宇奈月温泉駅」の増加頻度(増加する人のみ)【単数回答】

乗降ともに、「年に数回以下」との回答が8割を占める。



3. 路線バス利用者アンケート調査

(1) 調査の概要

① 調査目的

- ・ 路線バス利用者の交通行動や路線バスの利用環境に対する評価を把握すること。

② 調査対象

- ・ 路線バス乗車客

③ 調査方法

- ・ 主要バス停での手渡しによる調査票の配布・郵送による回収（留置方式）及びWeb 方式併用

④ 調査票配布場所

- ・ 市民病院 バス停（新幹線市街地線、生地循環線、石田三日市線、池尻線、南北循環線）
- ・ 黒部駅前 バス停（新幹線市街地線、生地循環線、石田三日市線、池尻線）
- ・ メルシー バス停（石田三日市線、池尻線、南北循環線）
- ・ 生地駅 バス停（新幹線生地線、生地循環線、南北循環線）

⑤ 調査日程

- ・ 調査票の配布：2023 年 9 月 12 日（火）、9 月 14 日（木）
- ・ 調査票の回収：2023 年 9 月 27 日（水）

⑥ 配布・回収状況

- ・ 本調査では、265 通の配布に対し 80 通の回答があり、回収率は、36.2%

配布数	265 通
回収数	96 通
回収率	36.2%

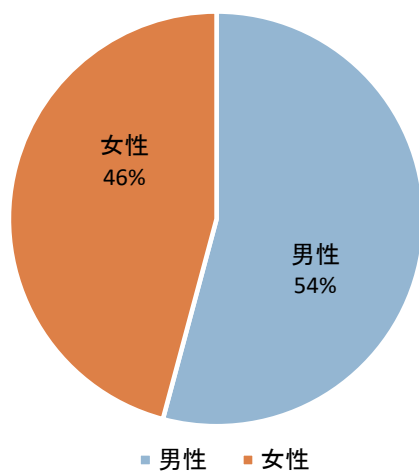
※ 以下では、有効回答数を基に集計

(2) 調査結果(概要)

① 属性【単数回答】

○性別

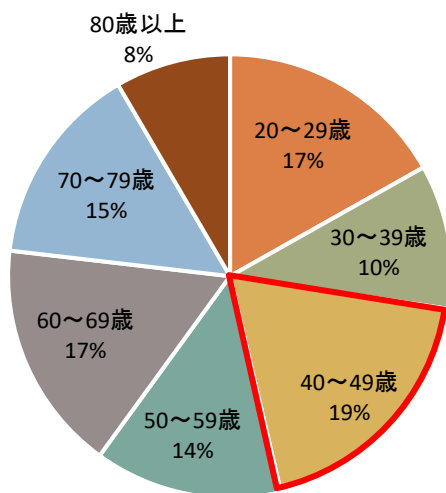
回答者の約 54%が「男性」、約 46%が「女性」となっている。



	回答数	比率
男性	52	54%
女性	44	46%
合計	96	100%

○年齢【単数回答】

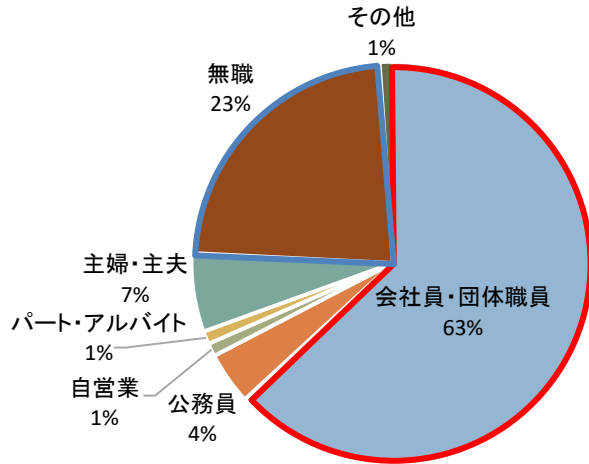
「40 歳代」が約 19%と最も割合が高いが、各年代には大きな差はない。



	回答数	比率
15～19歳	0	0%
20～29歳	16	17%
30～39歳	10	11%
40～49歳	18	19%
50～59歳	13	14%
60～69歳	16	17%
70～79歳	14	15%
80歳以上	8	8%
合計	95	100%

○職業【単数回答】

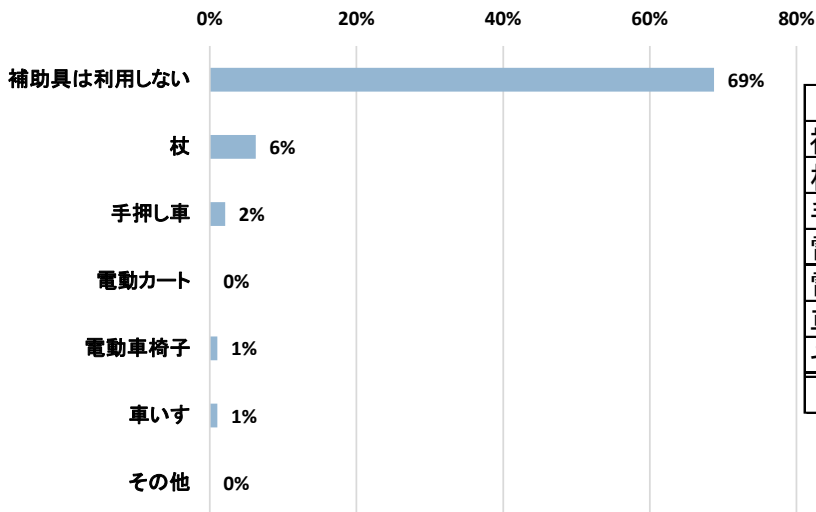
「会社員・団体職員」が63%と最も割合が高く、「無職」等が続く。



	回答数	比率
会社員・団体職員	60	63%
公務員	4	4%
自営業	1	1%
パート・アルバイト	1	1%
主婦・主夫	6	6%
高校生	0	0%
大学生・専門学校生	0	0%
無職	22	23%
その他	1	1%
合計	95	100%

○外出時の補助具利用状況【複数回答】

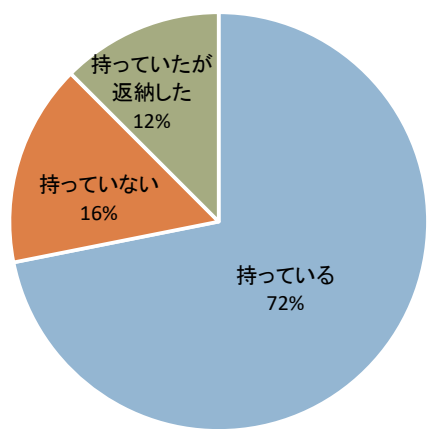
補助器具を利用しない回答者が大多数を占める。



	回答数	比率
補助具は利用しない	66	69%
杖	6	6%
手押し車	2	2%
電動カート	0	0%
電動車椅子	1	1%
車いす	1	1%
その他	0	0%
合計	76	79%

○運転免許の所有状況【単数回答】

運転免許所有者が過半数を占めている。なお、免許返納者は 12%となっている。

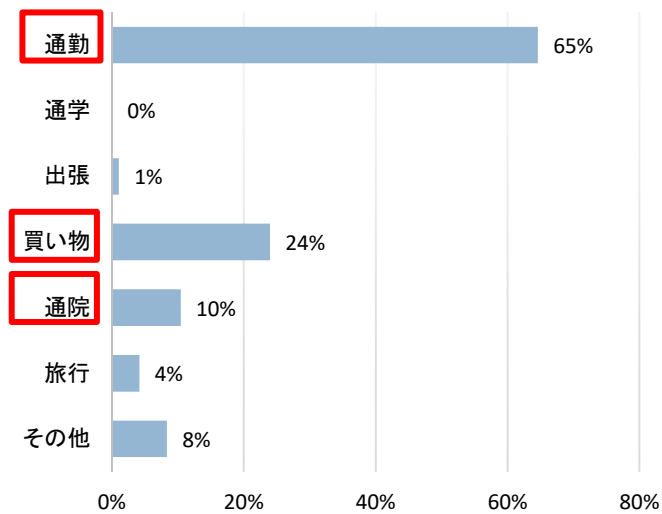


	回答数	比率
持っている	69	72%
持っていない	15	16%
持っていたが返納した	12	12%
合計	96	100%

②路線バスの利用状況

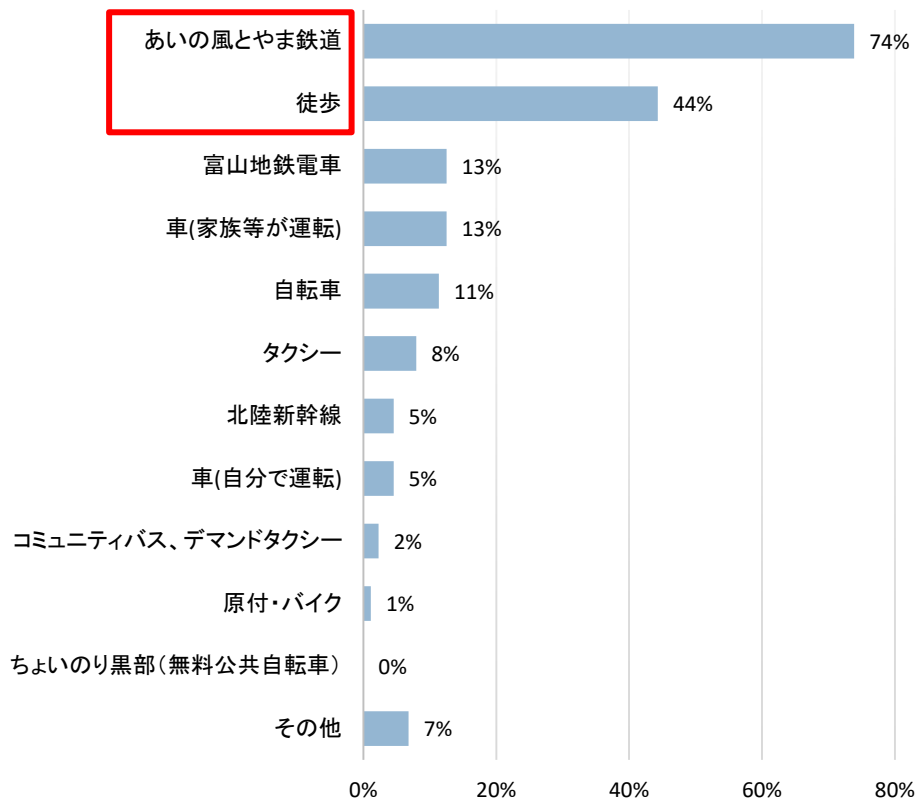
②-1 利用目的【複数回答】

「通勤」が最も割合が高く、「買い物」「通院」等が続く。



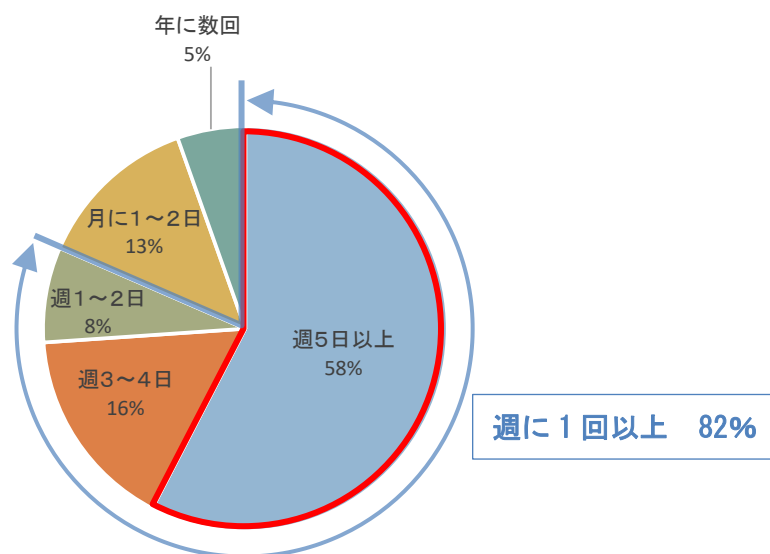
②-2 路線バス以外で利用した交通手段【複数回答】

「あいの風とやま鉄道」「徒歩」の割合が高い。



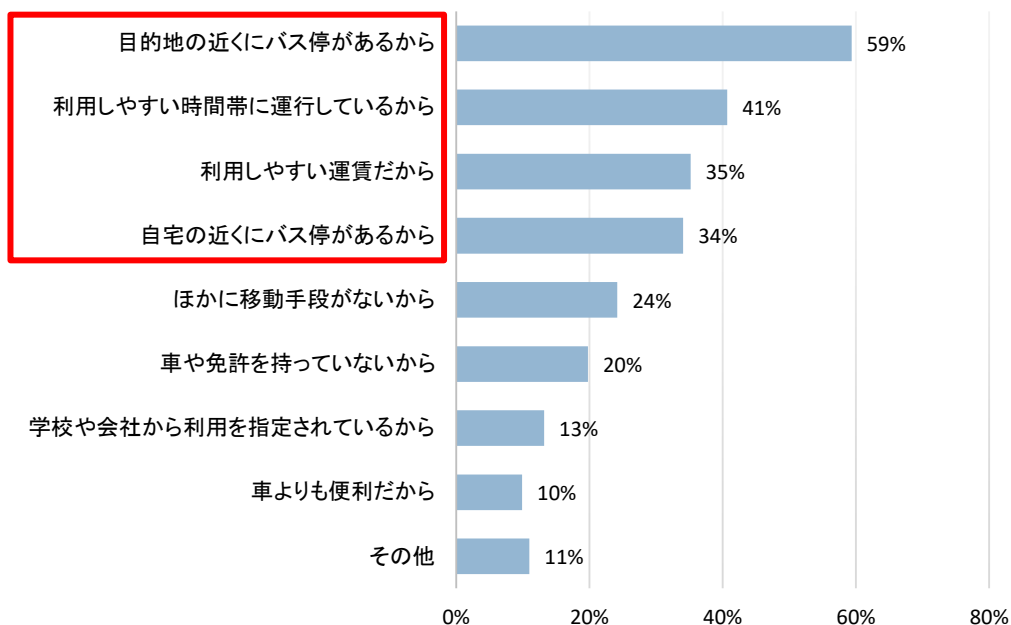
②-3 路線バスの利用頻度【単数回答】

全体では「週5日以上」利用する回答者が58%と最も割合が高く、週に1回以上路線バスを利用する回答者は、約8割となっている。



②-4 路線バスを利用する理由【複数回答】

「目的地の近くにバス停があるから」が最も割合が高く、「利用しやすい時間帯に運行しているから」や「利用しやすい運賃だから」「自宅の近くにバス停があるから」等が続く。

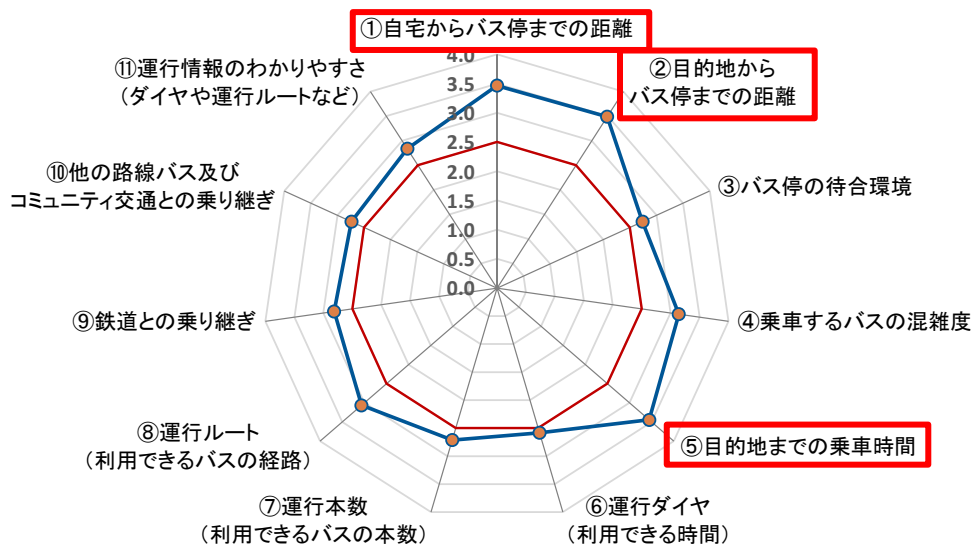


③黒部市内の路線バスに関する評価等

③-1 黒部市内の路線バスの満足度【単数回答】

○「行き」の利用環境

すべての項目で、満足度が中央値（2.5ポイント）を超える。特に、「①自宅からバス停までの距離」「②目的地からバス停までの距離」「⑤目的地までの乗車時間」の満足度が高い。

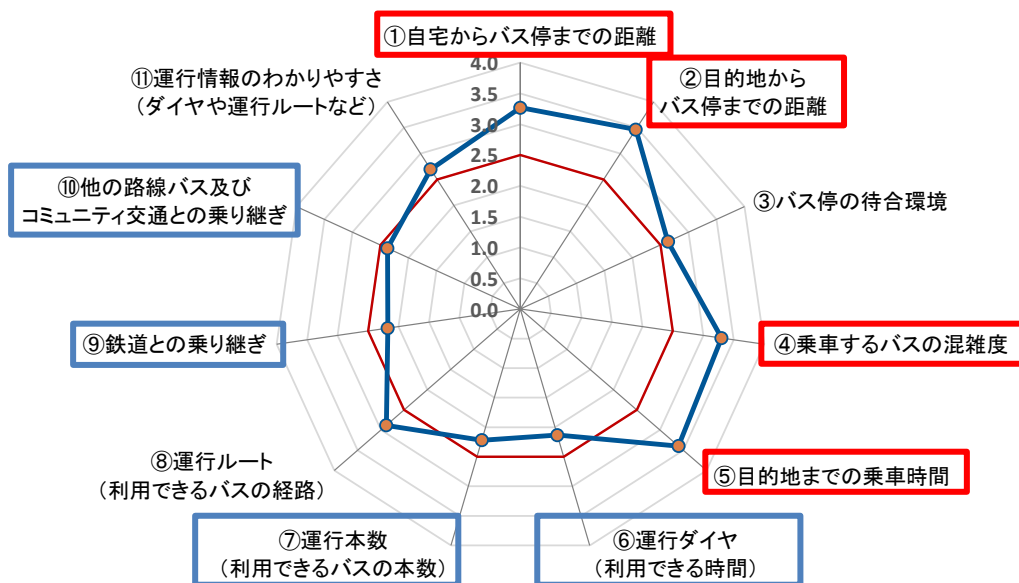


※満足度は、満足＝4、やや満足＝3、やや不満＝2、不満＝1とした四段階評定法による平均値

○「帰り」の利用環境【単数回答】

「帰り」では、「行き」で満足度が高かった「①自宅からバス停までの距離」「②目的地からバス停までの距離」「⑤目的地までの乗車時間」に加え、「④乗車するバスの混雑度」の満足度が高い。

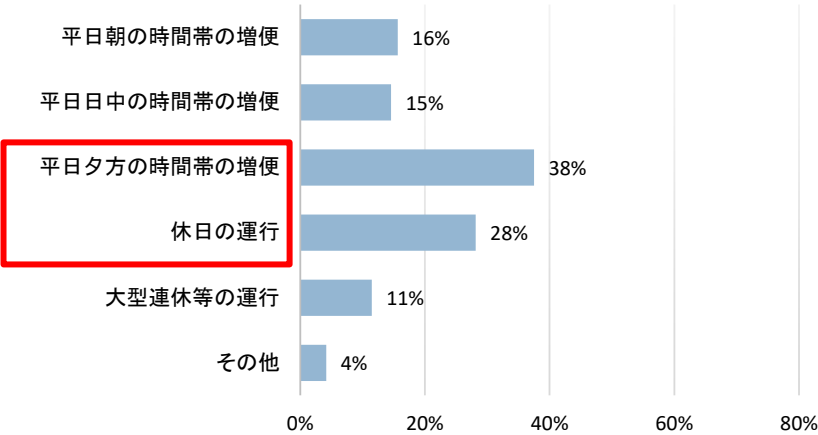
また、満足度が中央値（2.5ポイント）を下回る項目が4項目みられており、「行き」と比べて評価が低い。



③-2 路線バスをさらに利用するために必要な取組

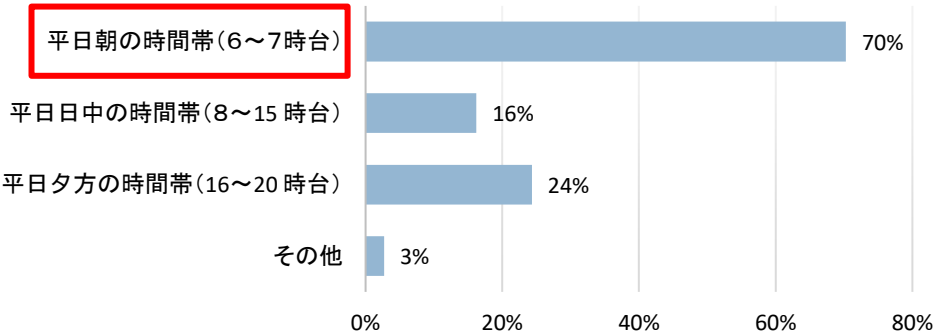
○バスの増便【複数回答】

「平日夕方の時間帯の増便」「休日の運行」の割合が高い。



○バスの混雑度の改善【複数回答】

「平日朝の時間帯（6～7時台）」が最も割合が高く、7割を占める。



○バス乗車が楽しくなる取組の実施【複数回答】

「目的地のお店や公共施設と連携した取組」が最も割合が高く、半数程度を占める。

